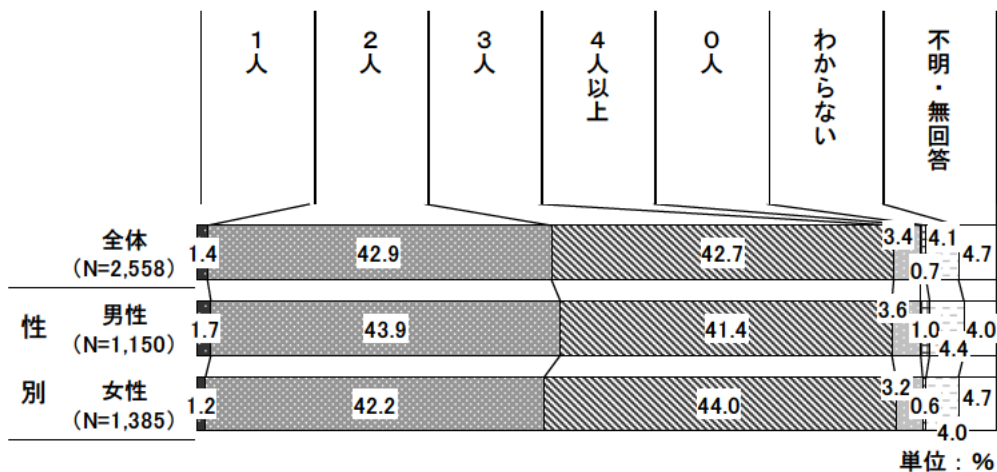


2 子育てや子どもの教育について

(1) 理想とする子どもの数について

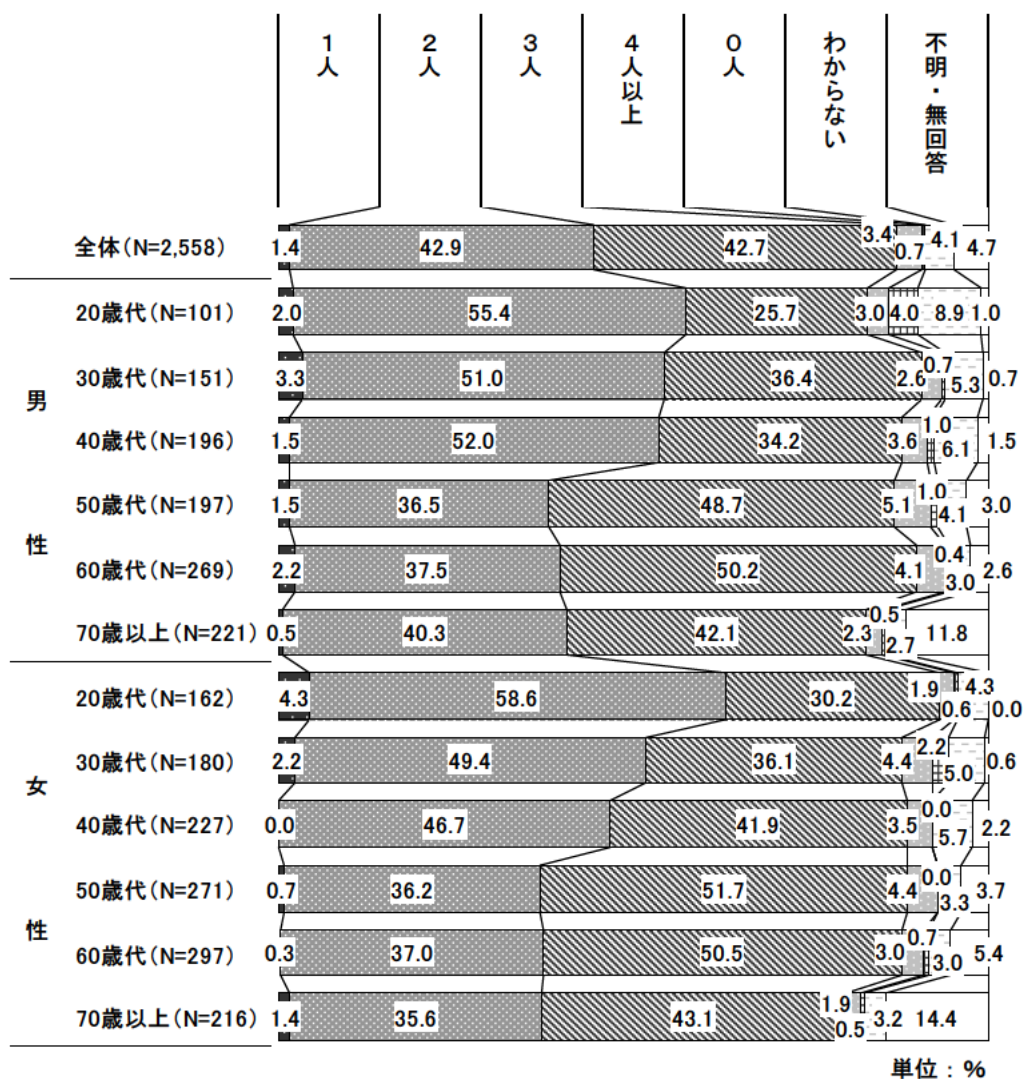
問3. あなたの理想とする子どもの数は何人ですか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

問3 理想とする子どもの数について 【全体/性別】



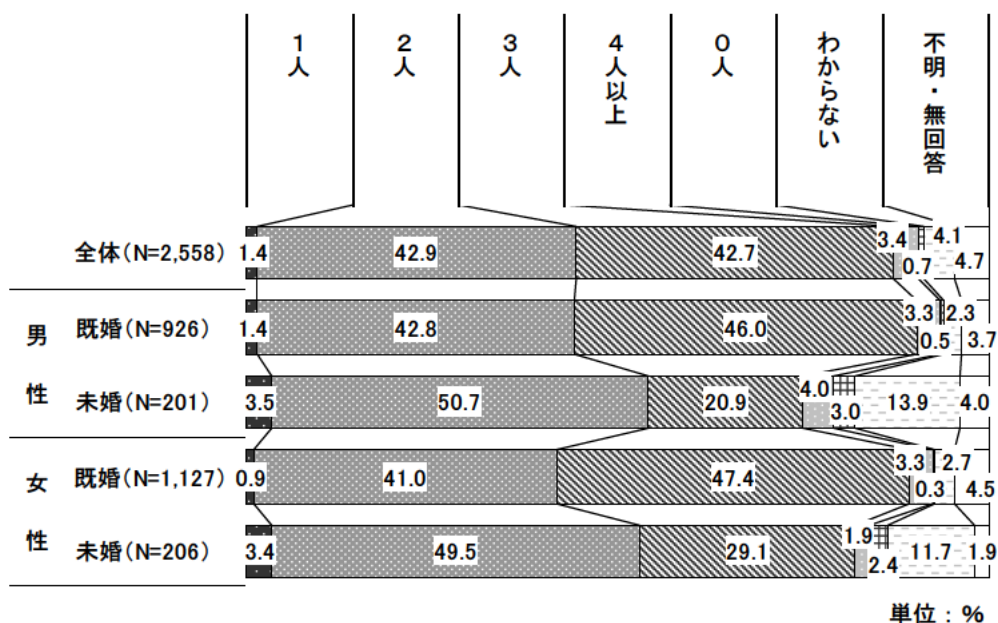
- 全体では、理想とする子どもの数について、「2人」と答えた人の割合が42.9%で最も高く、次いで「3人」と答えた人の割合が42.7%、「わからない」と答えた人の割合が4.1%と続いています。
- 性別でみると、男性では「2人」と答えた人の割合が43.9%で最も高く、女性では「3人」と答えた人の割合が44.0%で最も高い結果となっています。

問3 理想とする子どもの数について 【性別・年代別】



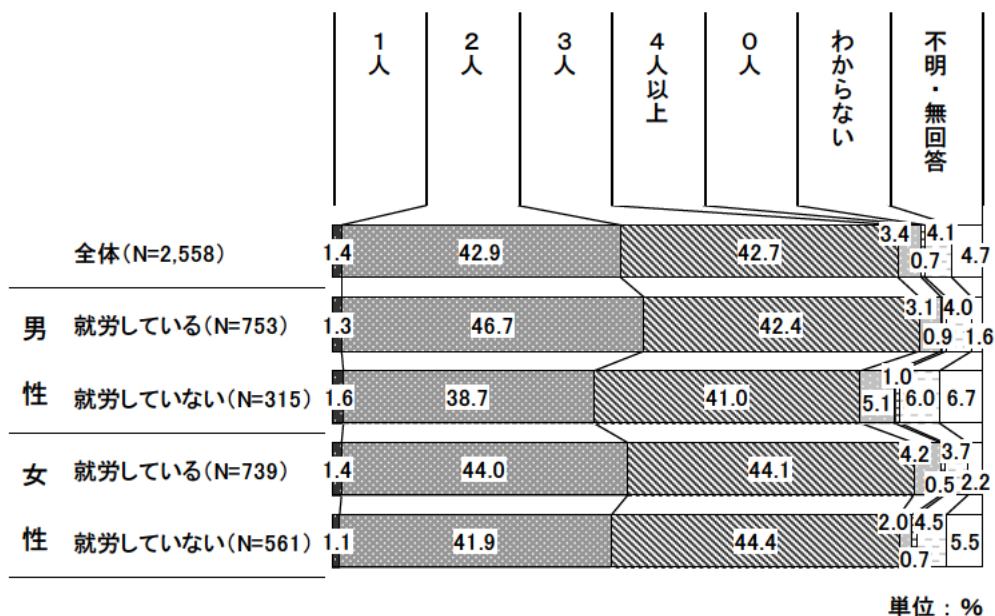
- 性・年代別でみると、男性の30歳代～40歳代、女性の20歳代～40歳代では「2人」と答えた人の割合が高く、男女とも50歳代以上では「3人」と答えた人の割合が高くなっています。

問3 理想とする子どもの数について 【性別・婚姻状況別】



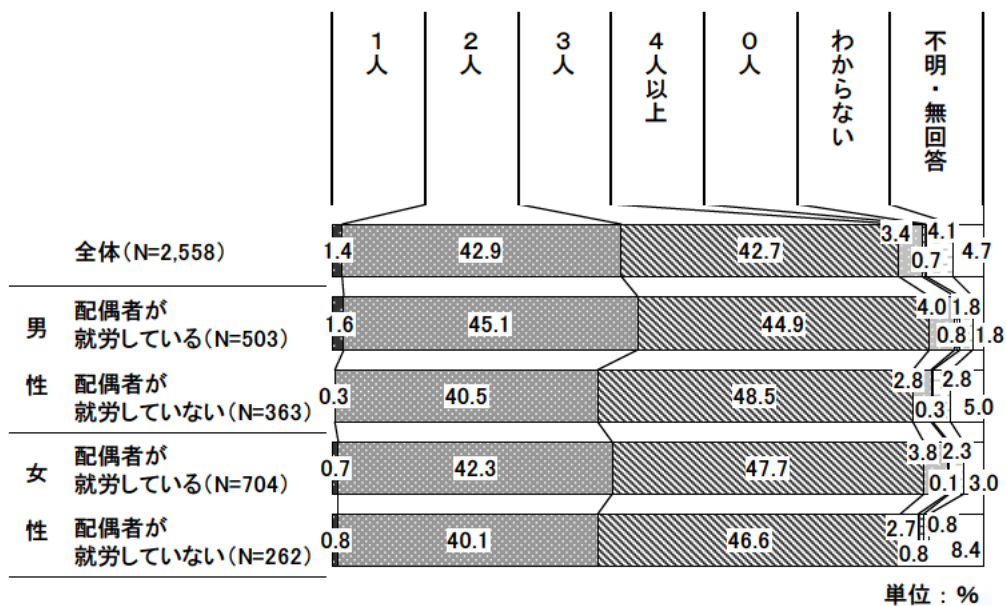
- 性・婚姻状況別で見ると、男女ともに「2人」と答えた人の割合は未婚者が高く、「3人」と答えた人の割合は既婚者が高い結果となっています。
特に男性の未婚者で、「2人」と答えた人の割合が50.7%と高くなっています。

問3 理想とする子どもの数について 【性別・就労状況別】



- 性・就労状況別で見ると、「2人」と答えた人の割合は男性の就労している(46.7%)が最も高く、「3人」と答えた人の割合は女性の就労していない(44.4%)が最も高い結果となっています。

問3 理想とする子どもの数について 【性別・配偶者の就労状況別】

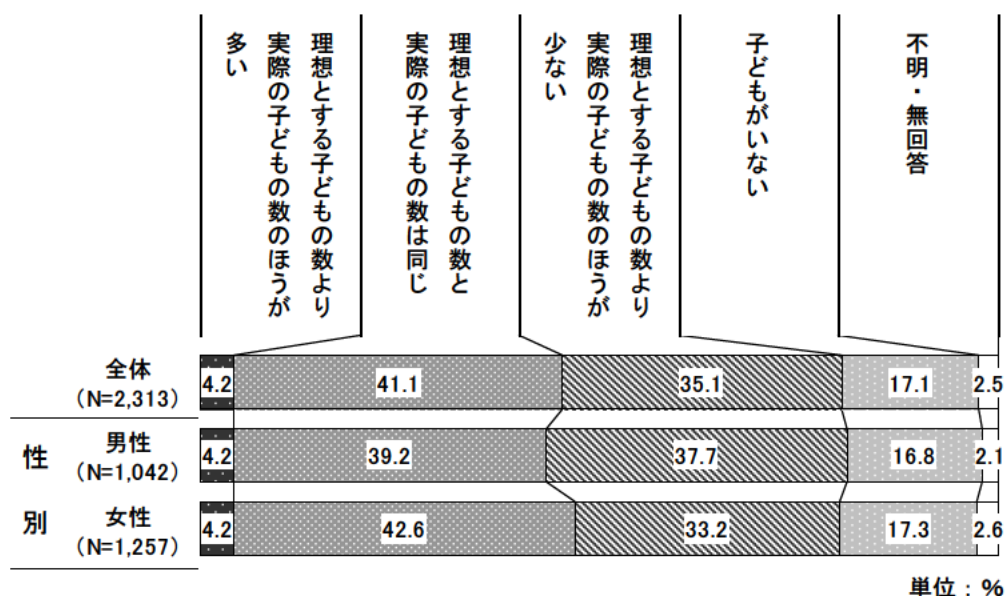


- 性別・配偶者の就労状況別で見ると、「2人」と答えた人の割合は男性の配偶者が就労している（45.1%）が最も高く、「3人」と答えた人の割合は男性の配偶者が就労していない（48.5%）が最も高い結果となっています。

(2) 理想と実際の子どもの数について

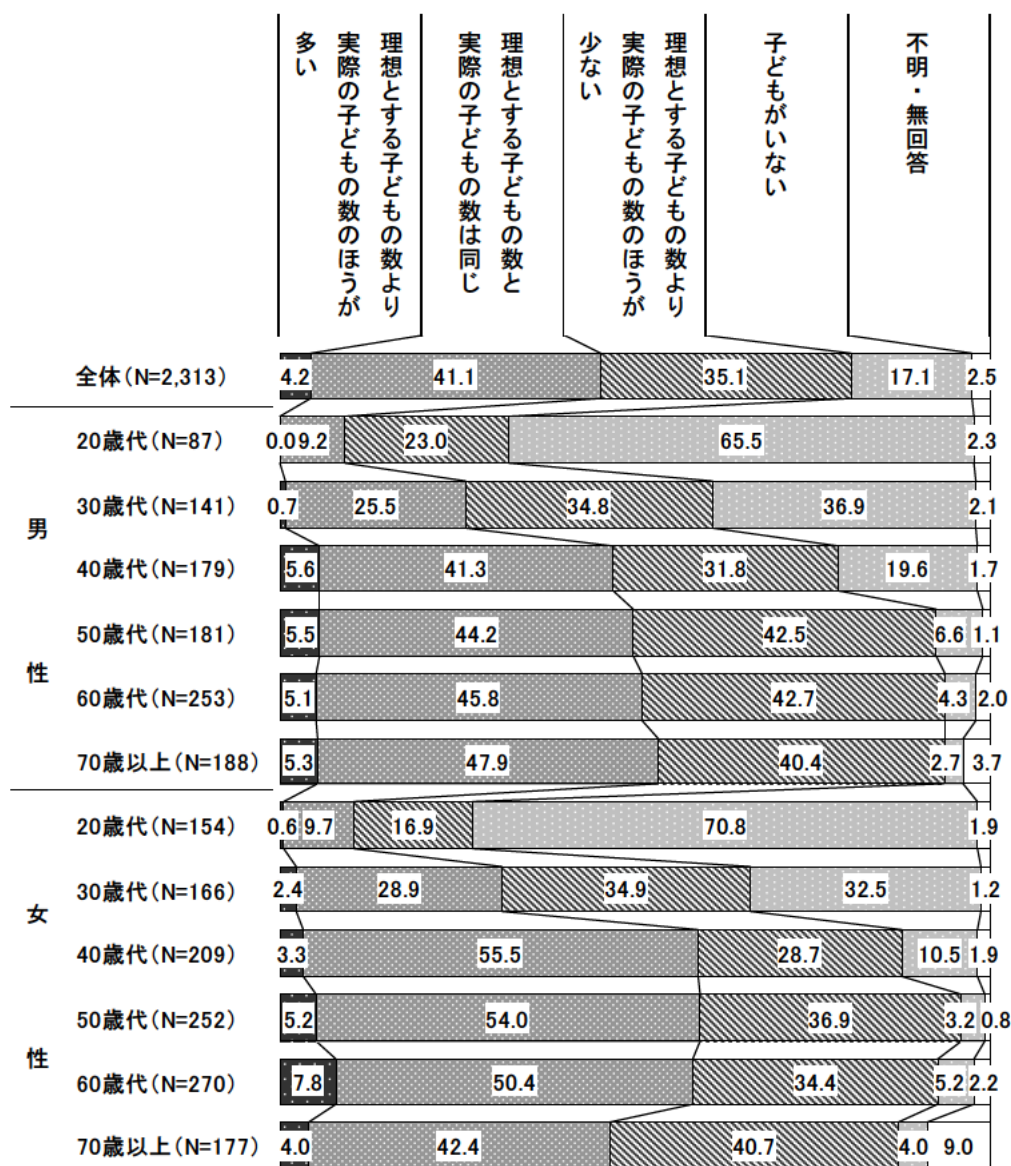
問3-1. 理想とする子どもの数と、実際の子どもの数に差がありますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

問3-1 理想と実際の子どもの数について 【全体／性別】



- 全体では、「理想とする子どもの数と実際の子どもの数は同じ」と答えた人の割合が 41.1%と最も高い結果となっています。
- 性別で見ると、男女ともに「理想とする子どもの数と実際の子どもの数は同じ」と答えた人の割合が最も高い結果となっています。

問3-1 理想と実際の子どもの数について 【性別・年代別】

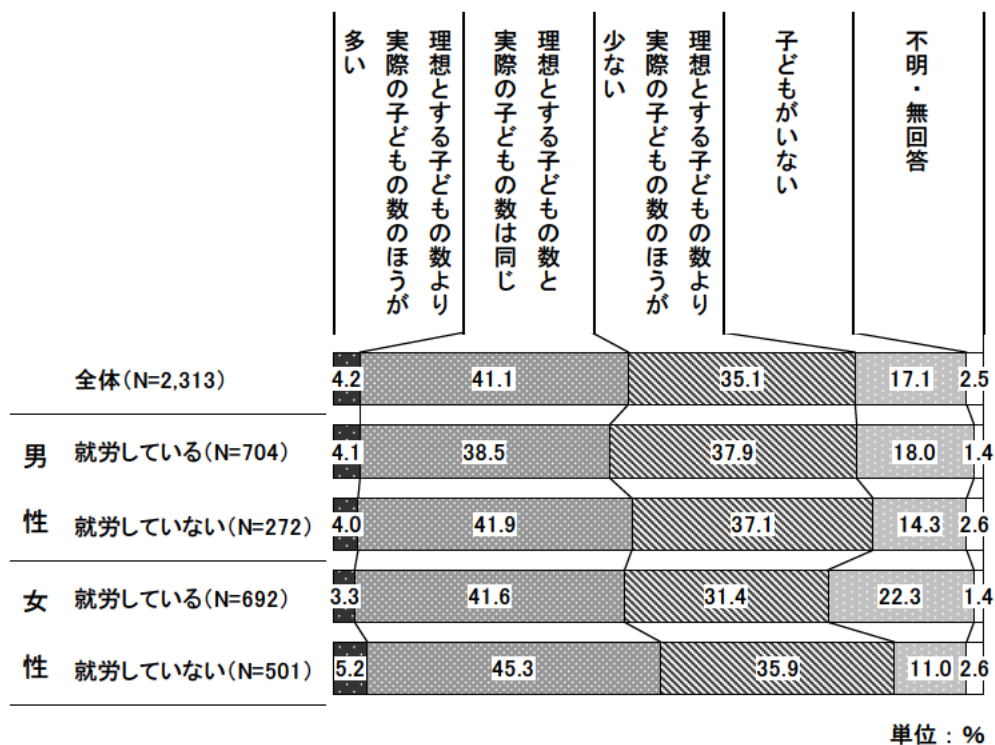


単位：%

● 性・年代別でみると、男女ともに40歳代以上では「理想とする子どもの数と実際の子どもの数は同じ」と答えた人の割合が最も高い結果となっています。

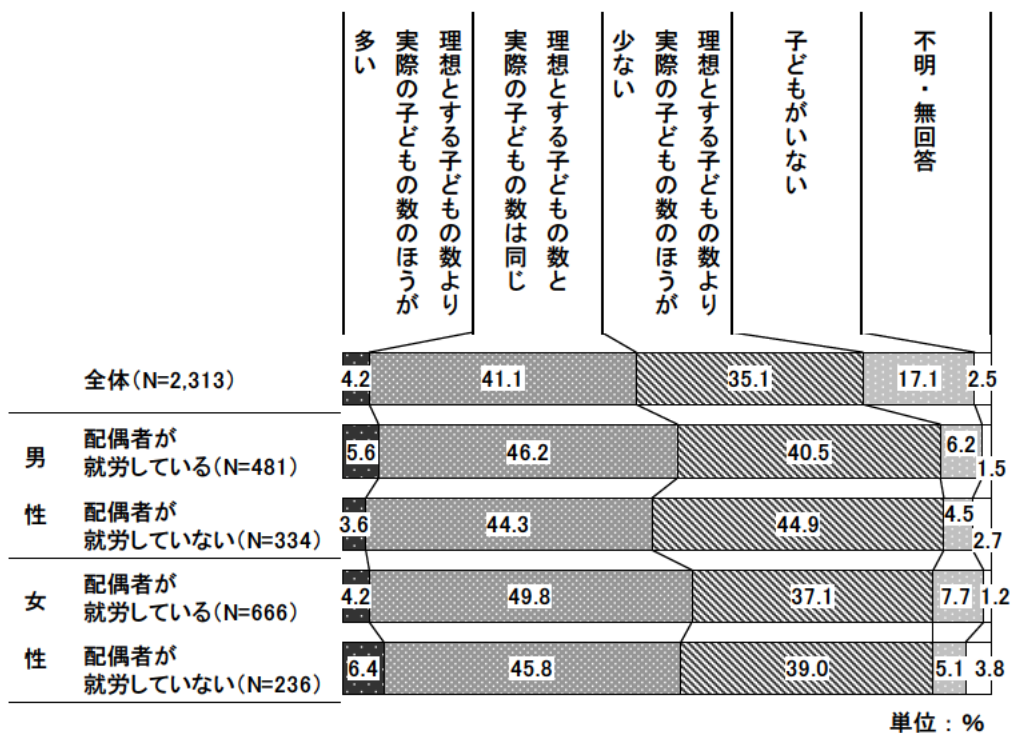
また、女性の30歳代では「理想とする子どもの数より実際の子どもの数のほうが少ない」と答えた人が34.9%と最も高い結果となっています。

問3-1 理想と実際の子どもの数について 【性別・就労状況別】



- 性・就労状況別で見ると、男女ともに「理想とする子どもの数と実際の子どもの数は同じ」と答えた人の割合が最も高い結果となっています。
また、「理想とする子どもの数より実際の子どもの数の方が少ない」と答えた人の割合は、男性の就労している（37.9%）が最も高い結果となっています。

問3-1 理想と実際の子どもの数について 【性別・配偶者の就労状況別】

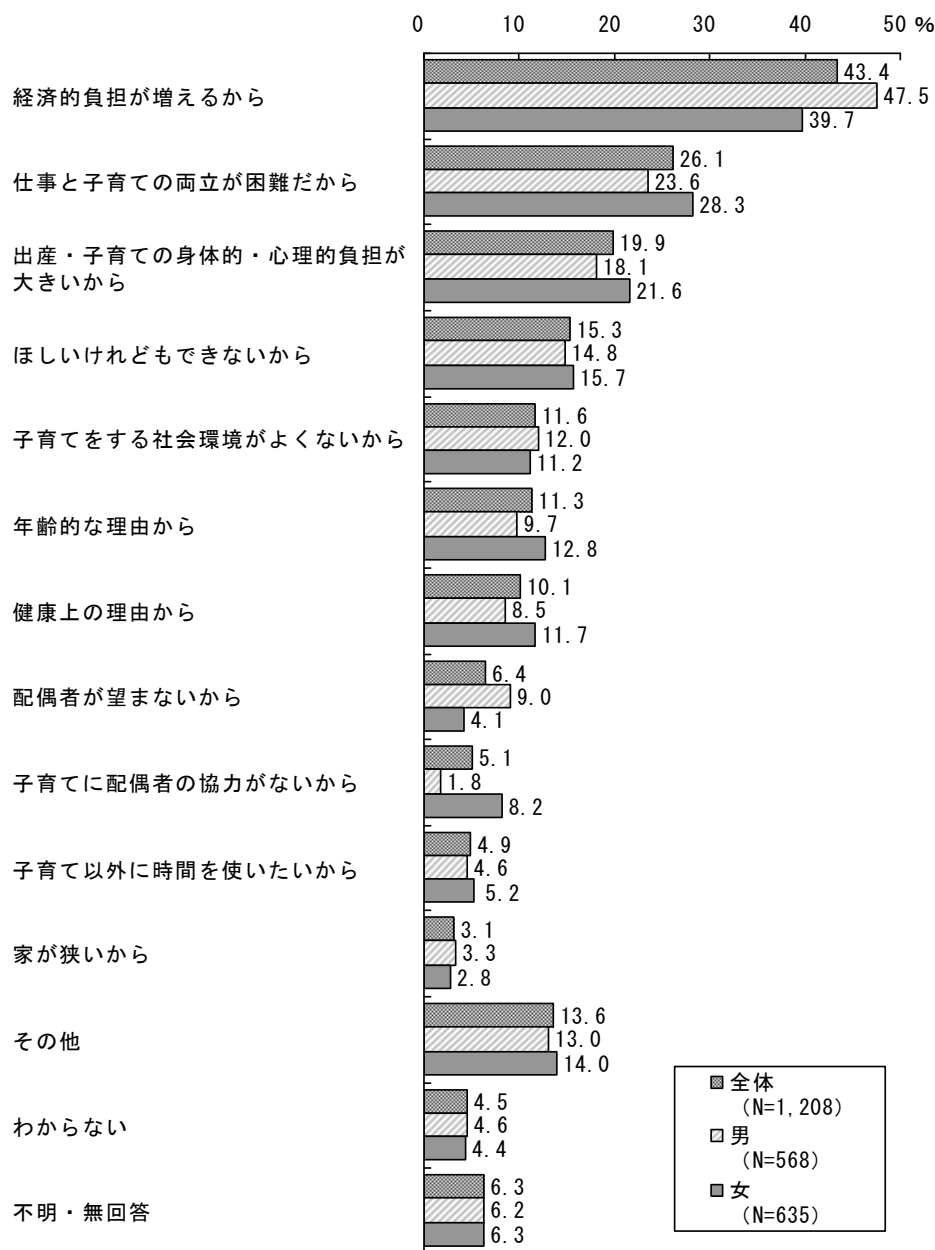


- 性別・配偶者の就労状況別で見ると、「理想とする子どもの数と実際の子どもの数は同じ」と答えた人の割合は、女性の配偶者が就労している（49.8%）が最も高い結果となっています。
また、「理想とする子どもの数より実際の子どもの数のほうが少ない」と答えた人の割合は、男性の配偶者が就労していない（44.9%）が最も高い結果となっています。

(3) 理想の子どもの数より少ない理由

問4. 実際の子どもの数が、理想とする子どもの数より少ない理由は何ですか。次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

問4 理想の子どもの数より少ない理由 【全体／性別】



- 全体では、「経済的負担が増えるから」と答えた人の割合が 43.4%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立が困難だから」と答えた人の割合が 26.1%、「出産・子育ての身体的・心理的負担が大きいから」と答えた人の割合が 19.9%と続いています。
- 性別でみると、「経済的負担が増えるから」と答えた人の割合は、男性(47.5%)が女性(39.7%)を 7.8 ポイント上回っており、他の項目より差が大きいことがわかります。
「子育てに配偶者の協力がいないから」と答えた人の割合は、女性が男性を 6.4 ポイント上回っています。

問4 理想の子どもの数より少ない理由 【性別・年代別・就労状況別】

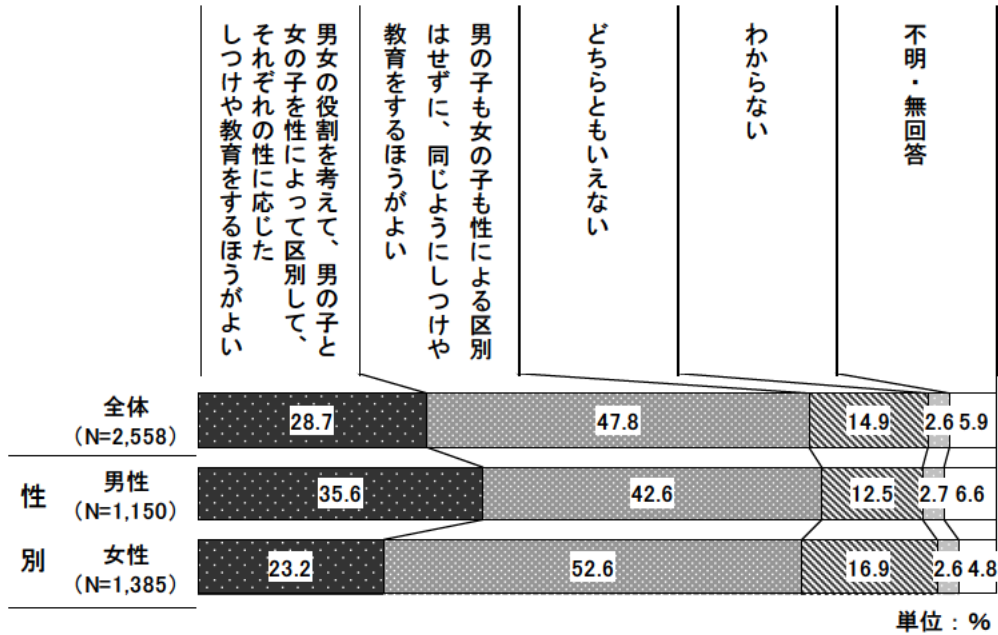
単位：N数（人）、選択肢の数値（%）

	全体（N数）	出産・子育ての身体的・心理的負担が大きいから	健康上の理由から	年齢的な理由から	両立が困難だから	仕事と子育ての両立が困難だから	子育てに配偶者の協力がいないから	使いたいから時間を	家が狭いから	経済的負担が増えるから	子育てをする社会環境がよくないから	配偶者が望まないから	ほしいけれどもできないから	その他	わからない	不明・無回答
全体	1,208	19.9	10.1	11.3	26.1	5.1	4.9	3.1	43.4	11.6	6.4	15.3	13.6	4.5	6.3	
男性	568	18.1	8.5	9.7	23.6	1.8	4.6	3.3	47.5	12.0	9.0	14.8	13.0	4.6	6.2	
女性	635	21.6	11.7	12.8	28.3	8.2	5.2	2.8	39.7	11.2	4.1	15.7	14.0	4.4	6.3	
男性／20歳代	77	18.2	1.3	2.6	20.8	2.6	9.1	3.9	40.3	20.8	5.2	7.8	23.4	13.0	6.5	
30歳代	101	19.8	7.9	5.0	23.8	2.0	3.0	1.0	48.5	16.8	4.0	17.8	19.8	5.0	3.0	
40歳代	92	15.2	12.0	16.3	9.8	1.1	3.3	1.1	44.6	6.5	12.0	23.9	17.4	4.3	5.4	
50歳代	89	24.7	9.0	14.6	27.0	2.2	4.5	4.5	50.6	10.1	11.2	19.1	6.7	2.2	4.5	
60歳代	119	15.1	10.9	5.9	31.1	0.8	5.9	5.0	52.1	10.1	9.2	8.4	8.4	0.8	8.4	
70歳以上	81	14.8	8.6	14.8	25.9	1.2	1.2	4.9	46.9	8.6	13.6	13.6	4.9	3.7	7.4	
女性／20歳代	135	12.6	2.2	5.2	23.7	2.2	5.9	1.5	26.7	10.4	0.7	7.4	34.1	10.4	14.8	
30歳代	112	22.3	8.0	15.2	29.5	7.1	8.9	-	46.4	12.5	3.6	15.2	17.9	2.7	5.4	
40歳代	82	25.6	12.2	26.8	18.3	12.2	6.1	2.4	37.8	14.6	11.0	22.0	11.0	2.4	2.4	
50歳代	101	30.7	14.9	17.8	28.7	5.9	3.0	7.9	47.5	8.9	5.9	18.8	5.9	2.0	1.0	
60歳代	107	23.4	17.8	7.5	36.4	13.1	5.6	3.7	43.9	13.1	2.8	15.0	3.7	2.8	4.7	
70歳以上	79	17.7	17.7	7.6	32.9	7.6	1.3	2.5	38.0	8.9	3.8	21.5	3.8	5.1	6.3	
男性／就労している	394	19.3	9.1	10.7	21.6	2.5	3.8	2.8	47.0	10.9	9.6	17.3	14.7	4.3	4.3	
就労していない	140	17.1	7.1	7.1	27.1	-	6.4	5.0	48.6	11.4	8.6	8.6	10.7	4.3	8.6	
女性／就労している	371	21.3	7.5	14.0	31.5	8.6	5.9	3.0	40.2	11.9	4.9	14.8	15.9	4.6	5.9	
就労していない	235	23.8	19.1	11.5	23.4	8.1	4.7	3.0	39.6	9.8	3.0	16.6	10.6	3.4	6.0	

(4) 男の子と女の子のしつけや教育について

問5. あなたは男の子と女の子のしつけや教育についてどう思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

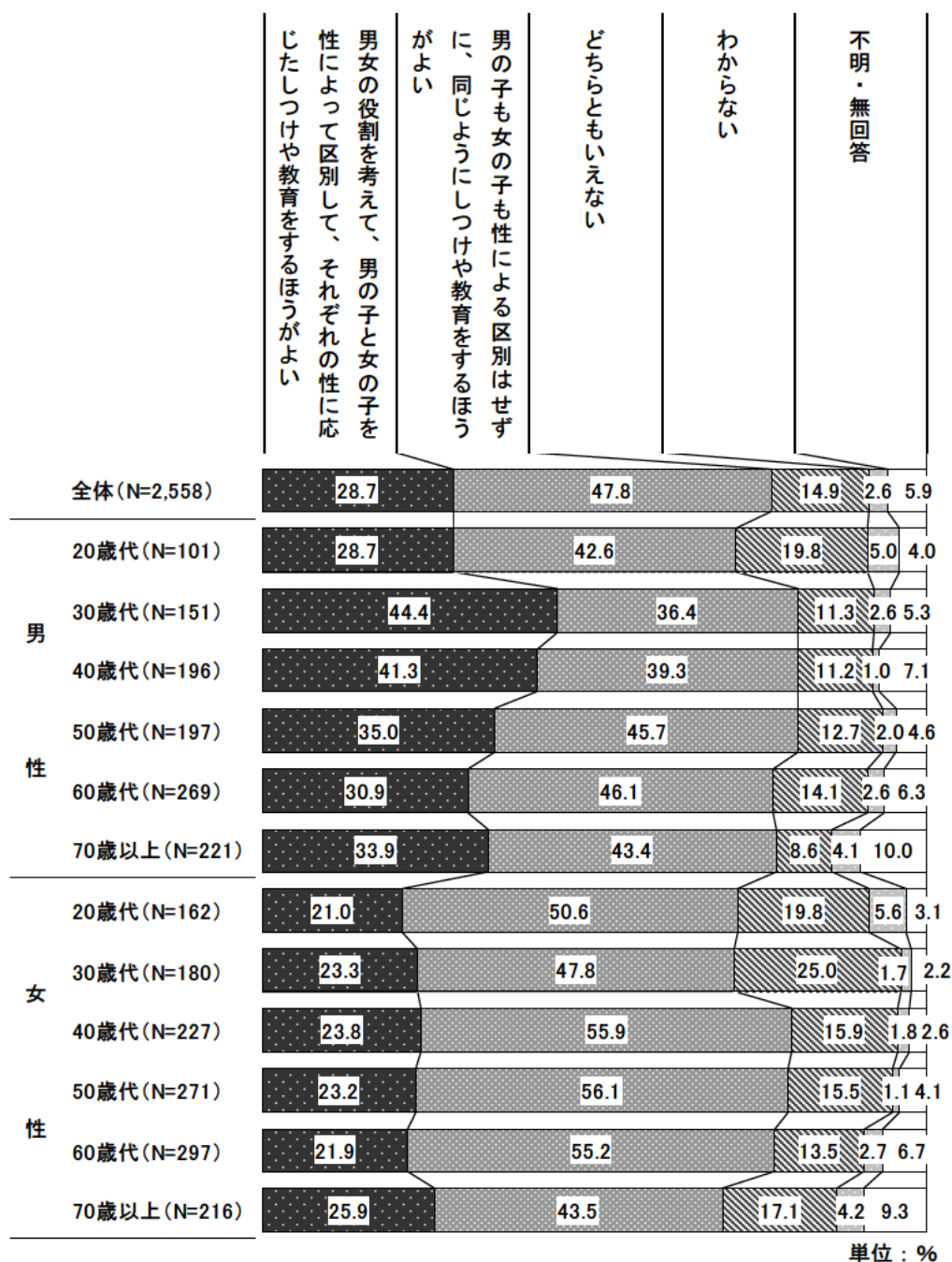
問5 男の子と女の子のしつけや教育について 【全体／性別】



- 全体では、「男の子も女の子も性による区別はせずに、同じようにしつけや教育をするほうがよい」と答えた人の割合が47.8%と最も高くなっています。
- 性別でみると、「男の子も女の子も性による区別はせずに、同じようにしつけや教育をするほうがよい」と答えた人の割合は、女性(52.6%)が男性(42.6%)を10.0ポイント上回っています。

「男女の役割を考慮して、男の子と女の子を性によって区別して、それぞれの性に応じたしつけや教育をするほうがよい」と答えた人の割合は、男性(35.6%)が女性(23.2%)を12.4ポイント上回っています。

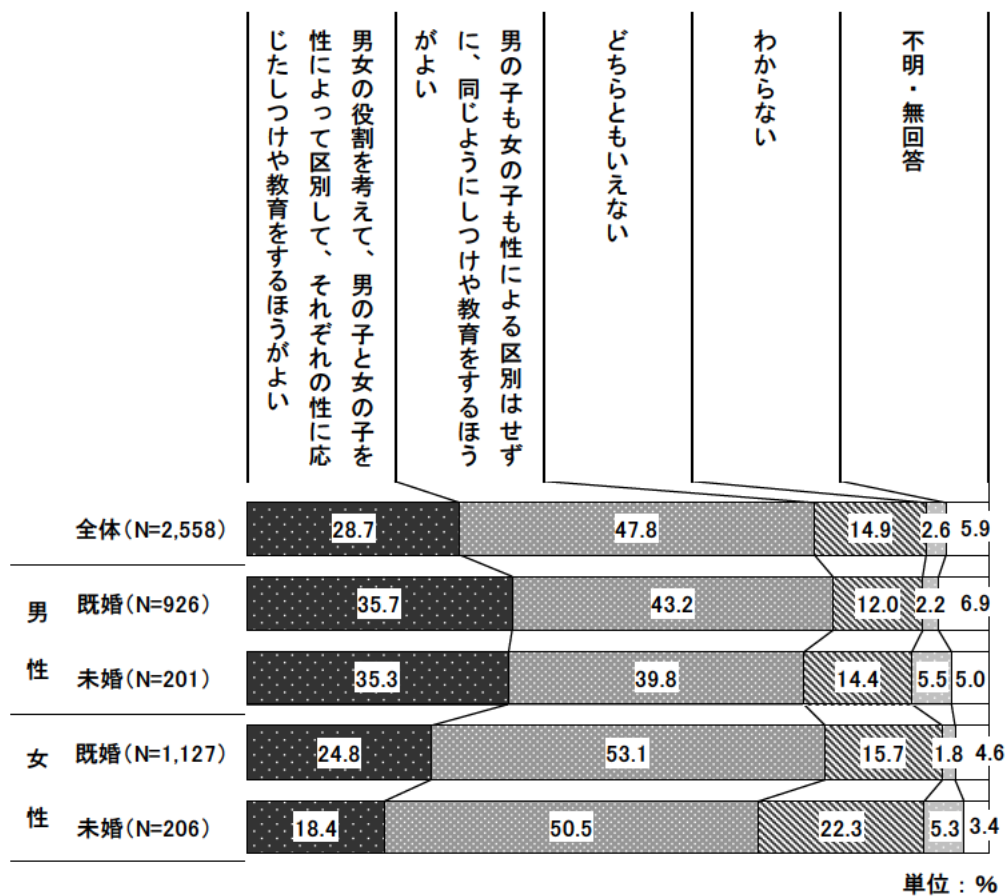
問5 男の子と女の子のしつけや教育について 【性別・年代別】



- 性・年代別で見ると、「男女の役割を考慮して、男の子と女の子を性によって区別して、それぞれの性に合ったしつけや教育をするほうがよい」と答えた人の割合は、男性の30歳代(44.4%)と40歳代(41.3%)で4割を超え、高くなっています。

「男の子も女の子も性による区別はせずに、同じようにしつけや教育をするほうがよい」と答えた人の割合は、女性の50歳代(56.1%)、40歳代(55.9%)、60歳代(55.2%)、20歳代(50.6%)で5割を超えています。

問5 男の子と女の子のしつけや教育について 【性別・婚姻状況別】



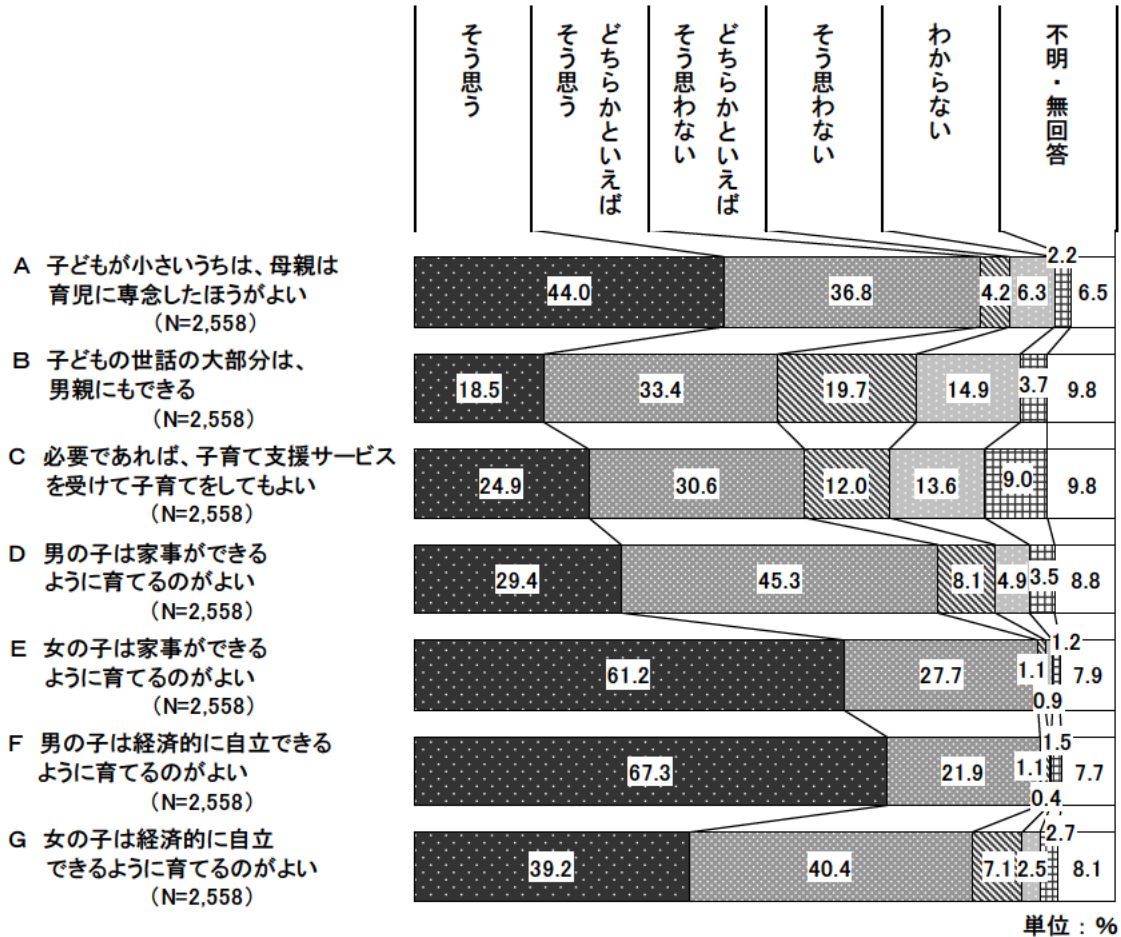
- 性・婚姻状況別で見ると、「男女の役割を考慮して、男の子と女の子を性によって区別して、それぞれの性に合ったしつけや教育をするほうがよい」と答えた人の割合は、男性の既婚者（35.7%）と未婚者（35.3%）で3割を超え、高くなっています。

「男の子も女の子も性による区別はせずに、同じようにしつけや教育をするほうがよい」と答えた人の割合は、女性の既婚者（53.1%）が最も高くなっています。

(5) 子育てに関する考え方について

問6. 子育てについて、あなたのご意見に近いものはどれですか。A～Gのそれぞれについて1つずつ選んで○印をつけてください。

問6 子育てに関する考え方について A～Gの子育てに関する意見別比較 【全体】

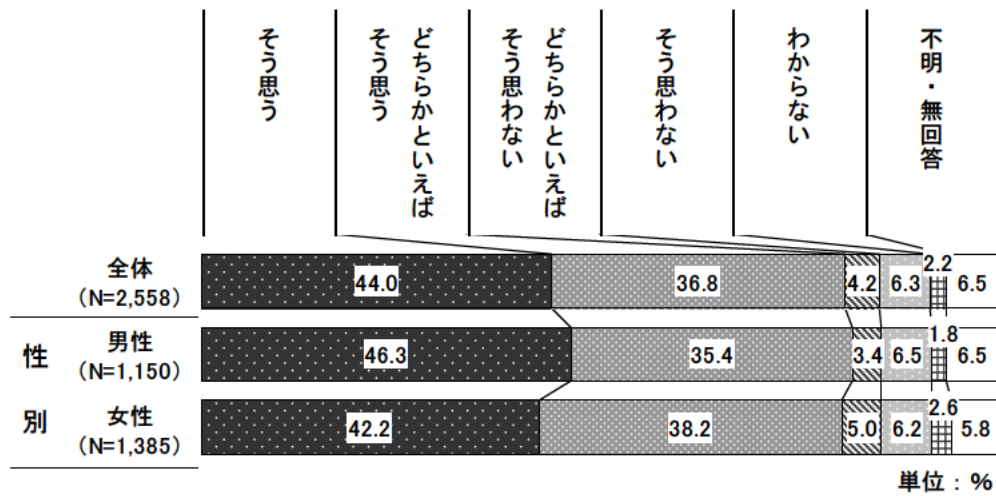


● A～Gの項目を比較すると、『そう思う』と答えた人の割合は、「F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」(89.2%)が最も高く、次いで「E 女の子は家事ができるように育てるのがよい」(88.9%)と続いています。

一方、『そう思わない』と答えた人の割合は、「B 子どもの世話の大部分は、男親にもできる」(34.6%)が最も高く、次いで「C 必要であれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい」(25.6%)と続いています。

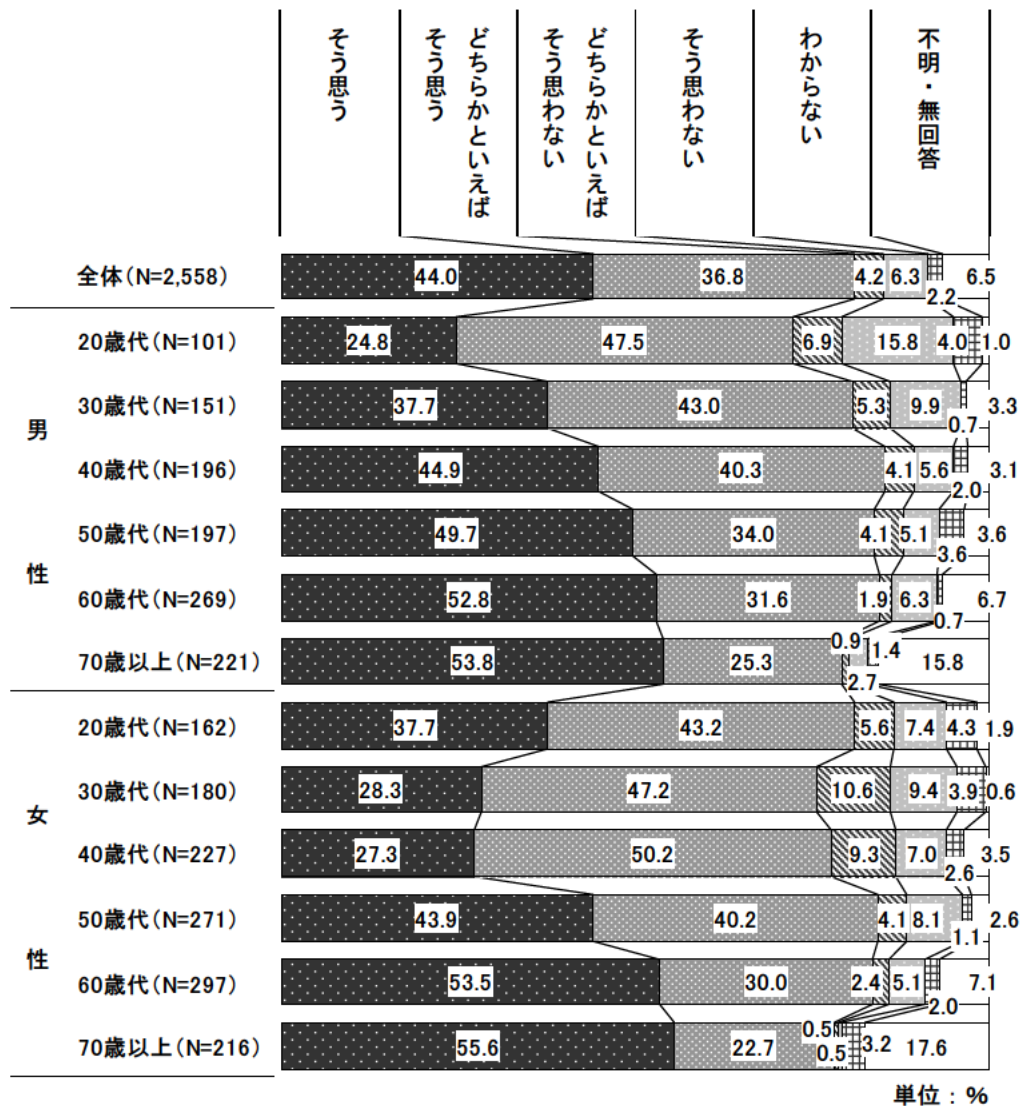
※『そう思う』は、本来の選択肢の「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を合計したものです。また、『そう思わない』は、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合を合計したものです。以降のページも同様。

問6 子育てに関する考え方について A 子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい 【全体／性別】



- 全体では、『そう思う』と答えた人の割合は、80.8%となっています。
- 性別で見ると、「そう思う」と答えた人の割合は、男性（46.3%）が女性（42.2%）を上回っています。

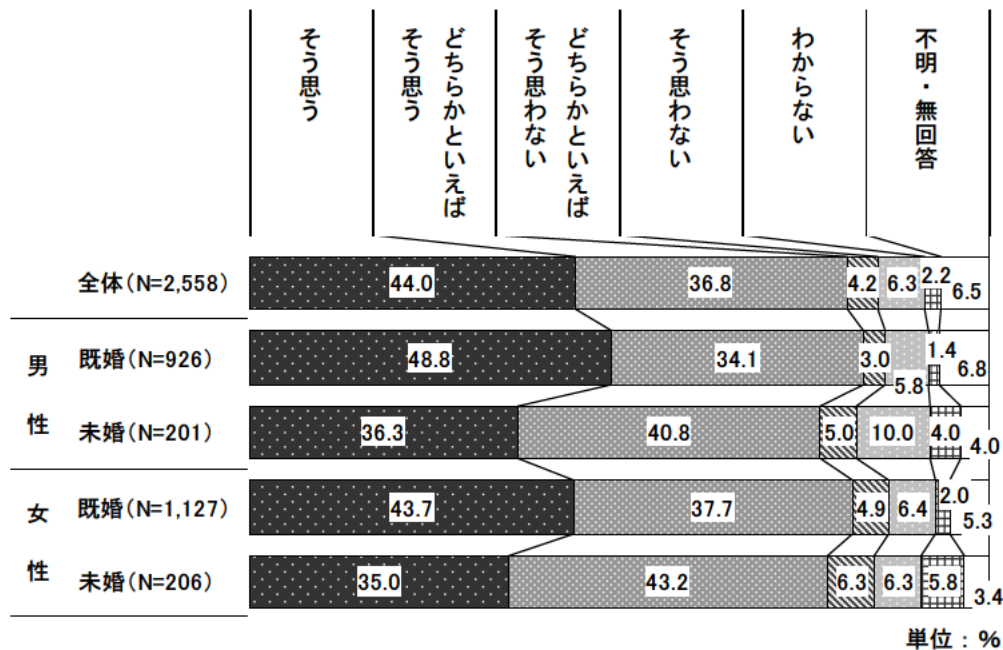
問6 子育てに関する考え方について A 子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい 【性別・年代別】



● 性・年代別でみると、『そう思う』と答えた人の割合は、男性では40歳代（85.2%）、女性では50歳代（84.1%）が最も高い結果となっています。

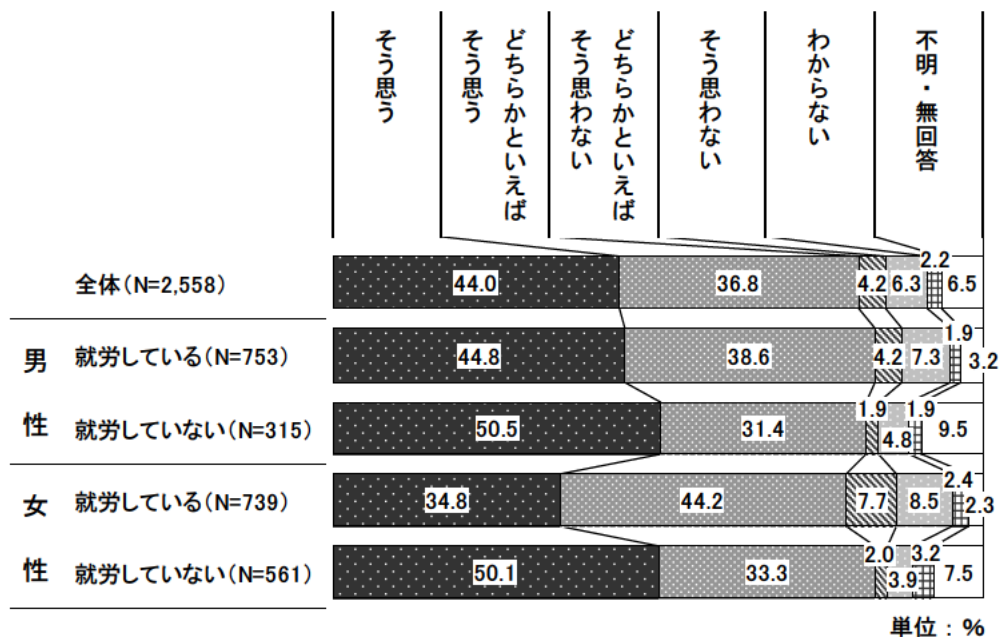
また、「そう思わない」と答えた人の割合は、男性の30歳代（9.9%）、女性の30歳代（9.4%）が高くなっています。

問6 子育てに関する考え方について A 子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい 【性別・婚姻状況別】



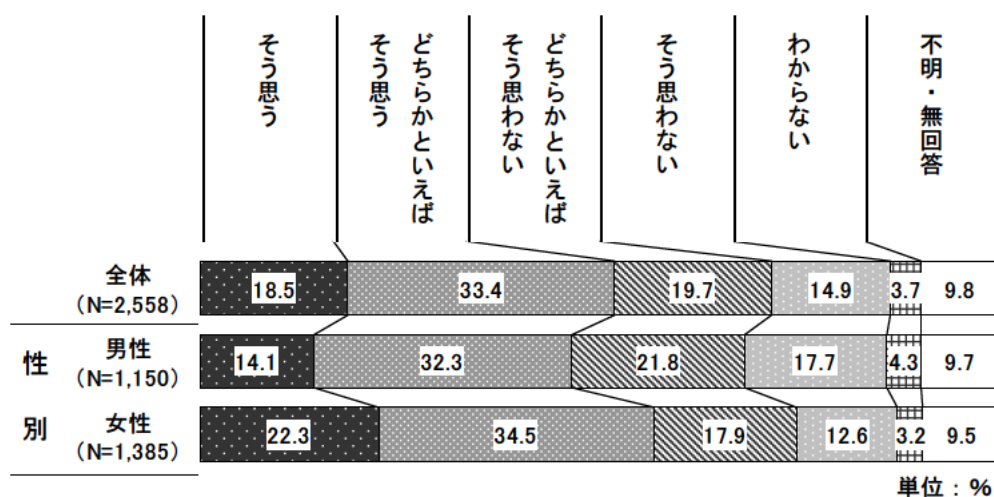
- 性・婚姻状況別でみると、『そう思う』と答えた人の割合は、男性の既婚者（82.9%）と女性の既婚者（81.4%）が高くなっています。
『そう思わない』と答えた人の割合は、男性の未婚者（15.0%）が最も高い結果となっています。

問6 子育てに関する考え方について A 子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい 【性別・就労状況別】



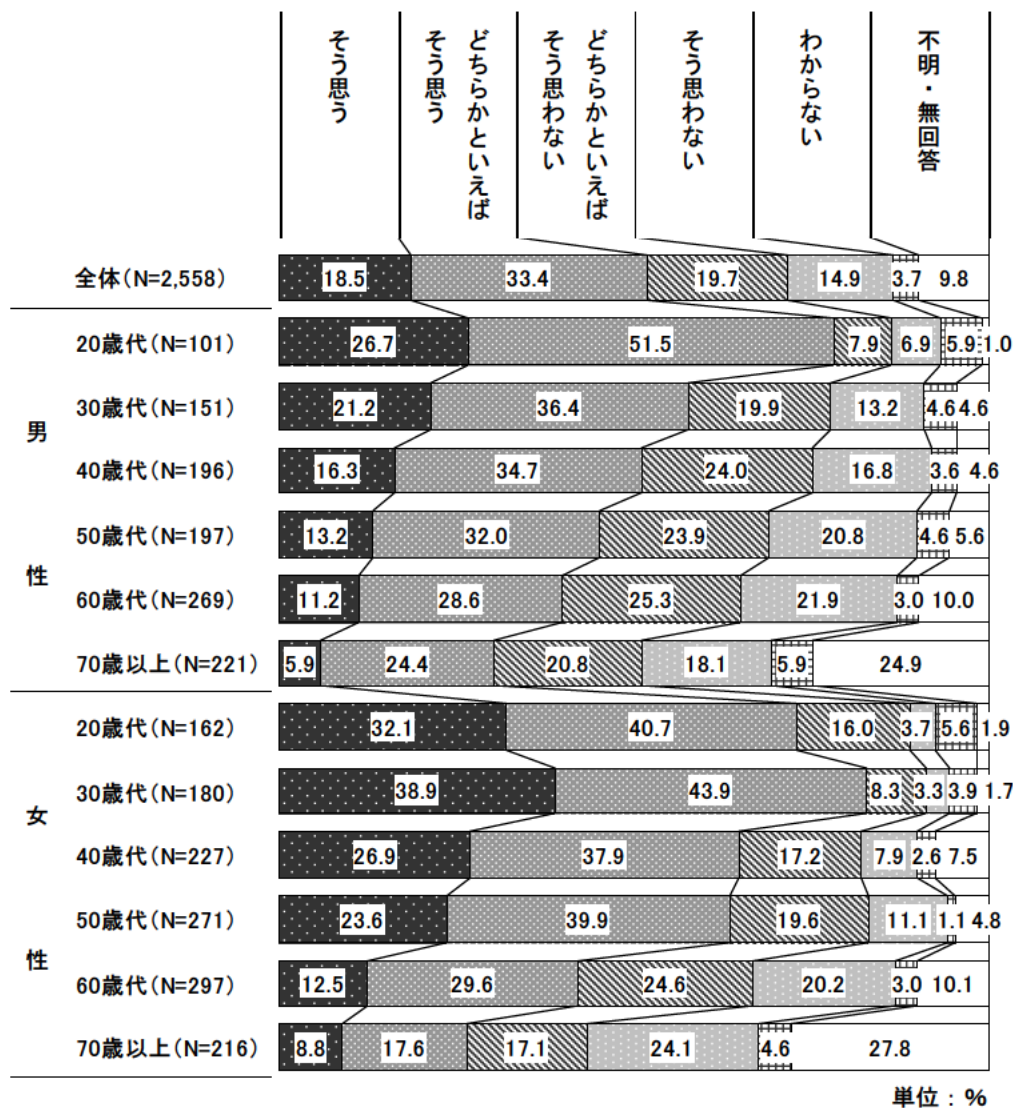
- 性・就労状況別で見ると、「そう思う」と答えた人の割合は、男性の就労していない（50.5%）と女性の就労していない（50.1%）が高くなっています。
『そう思わない』と答えた人の割合は、女性の就労している（16.2%）が最も高い結果となっています。

問6 子育てに関する考え方について B 子どもの世話の大部分は、男親にもできる 【全体／性別】



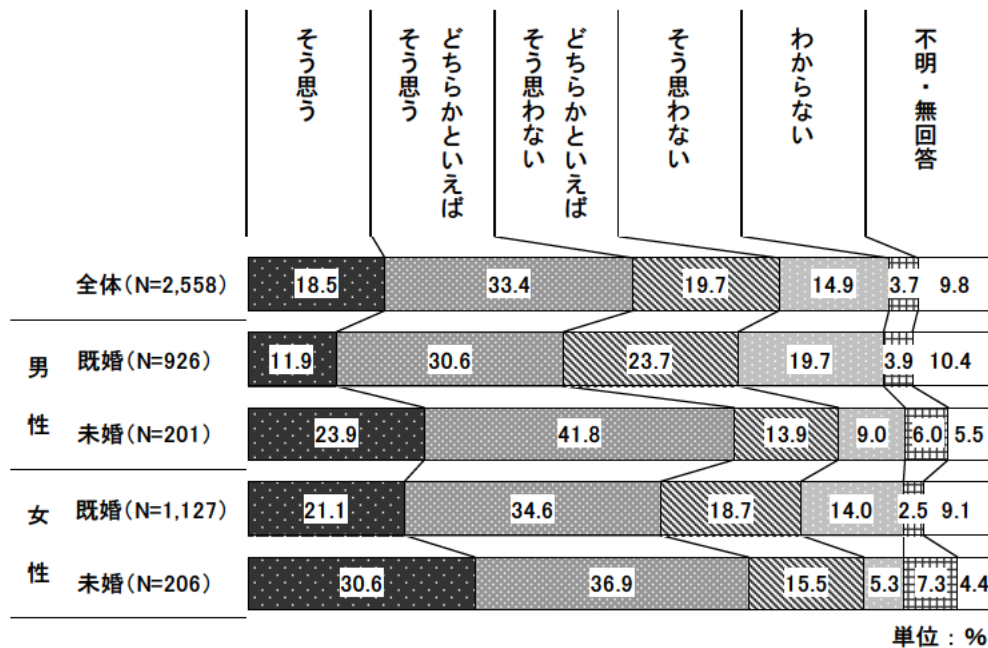
- 全体では、『そう思う』と答えた人の割合は 51.9%、『そう思わない』と答えた人の割合は 34.6%となっています。
- 性別で見ると、『そう思う』と答えた人の割合は、女性（56.8%）が男性（46.4%）を10ポイント以上、上回っています。
『そう思わない』と答えた人の割合は、男性（39.5%）が女性（30.5%）を9.0ポイント上回っています。

問6 子育てに関する考え方について B 子どもの世話の大部分は、男親にもできる
【性別・年代別】



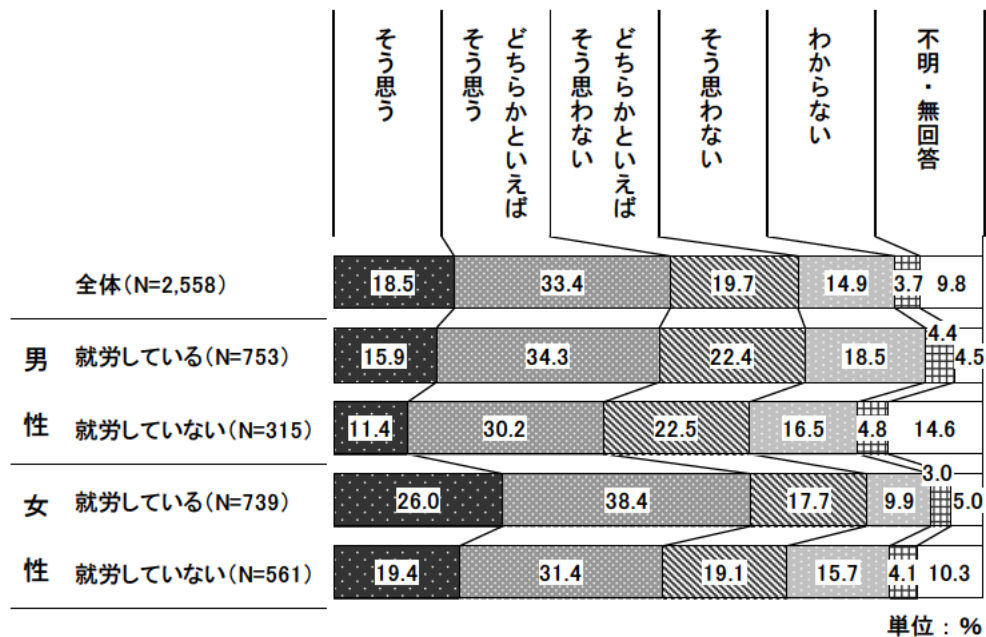
- 性・年代別でみると、『そう思う』と答えた人の割合は、女性の30歳代（82.8%）が最も高くなっています。女性の20歳代から30歳代を除き、男女ともに年代が上がるにつれて、割合が低くなる傾向にあります。

問6 子育てに関する考え方について B 子どもの世話の大部分は、男親にもできる
【性別・婚姻状況別】



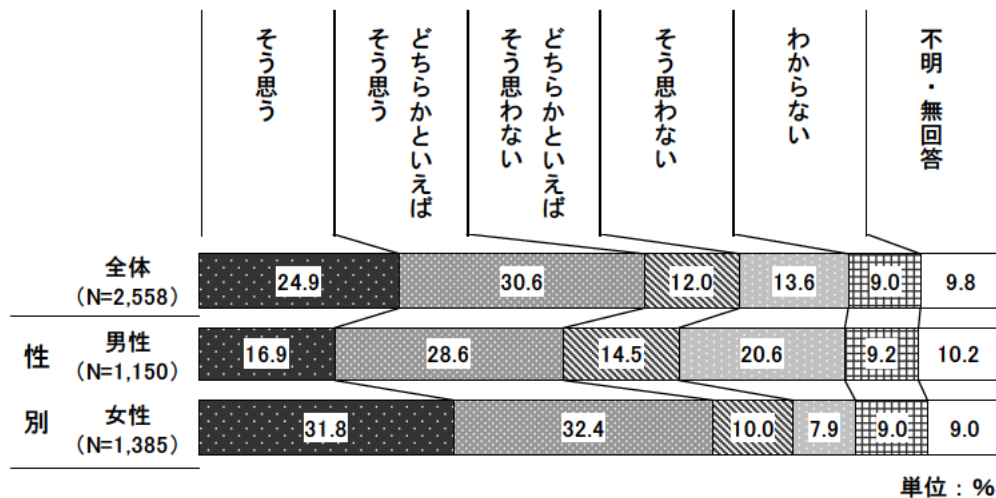
- 性・婚姻状況別でみると、男女ともに、『そう思う』と答えた人の割合は、未婚者より既婚者が低い傾向にあることがわかります。また、女性の未婚者（67.5%）が最も高く、次いで男性の未婚者（65.7%）が続いています。
『そう思わない』と答えた人の割合は、男性の既婚者（43.4%）が最も高い結果となっています。

問6 子育てに関する考え方について B 子どもの世話の大部分は、男親にもできる
【性別・就労状況別】



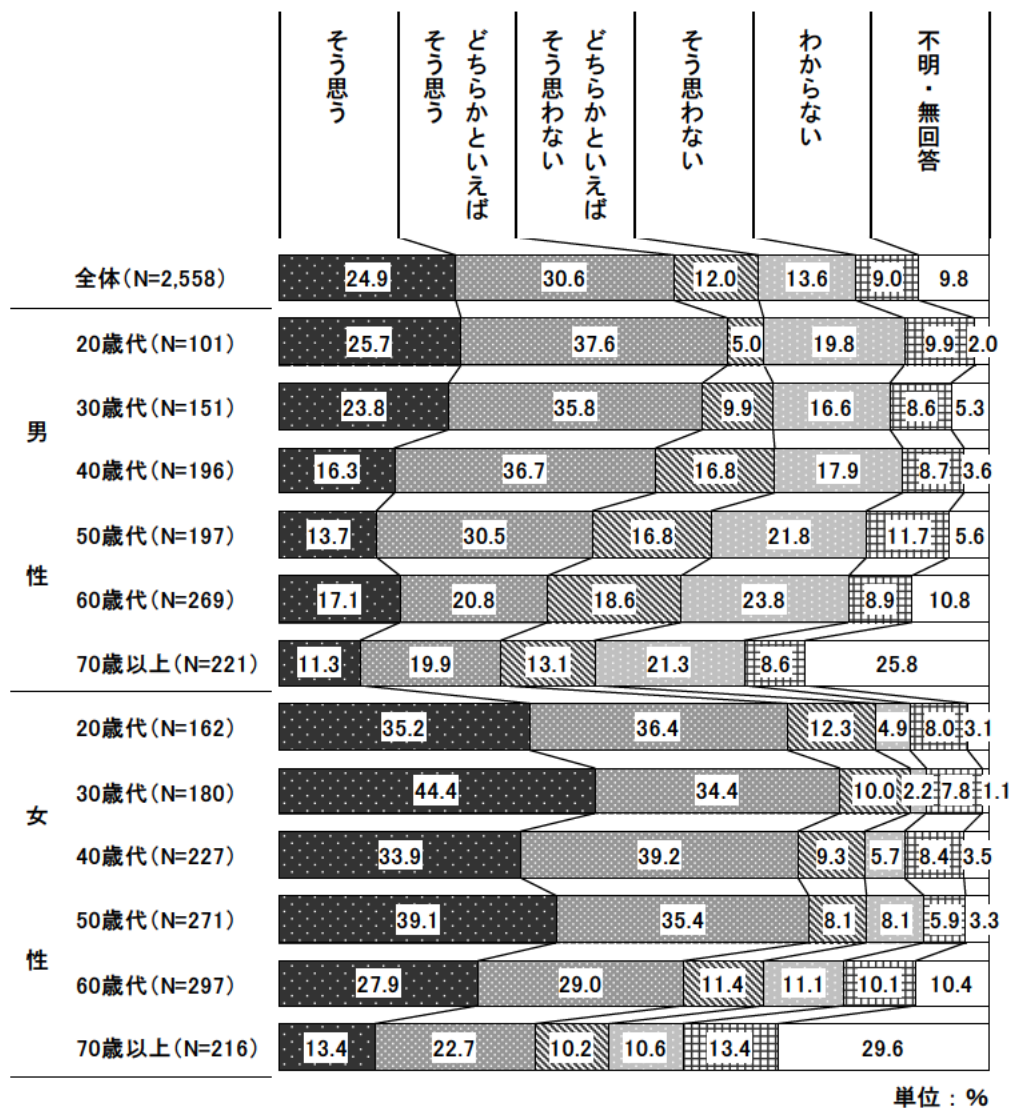
- 性別・就労状況別で見ると、男女ともに、『そう思う』と答えた人の割合は、就労している人より就労していない人が低い傾向にあることがわかります。また、女性の就労している（64.4%）が最も高くなっています。
『そう思わない』と答えた人の割合は、男性の就労している（40.9%）が最も高い結果となっています。

問6 子育てに関する考え方について C 必要であれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい 【全体／性別】



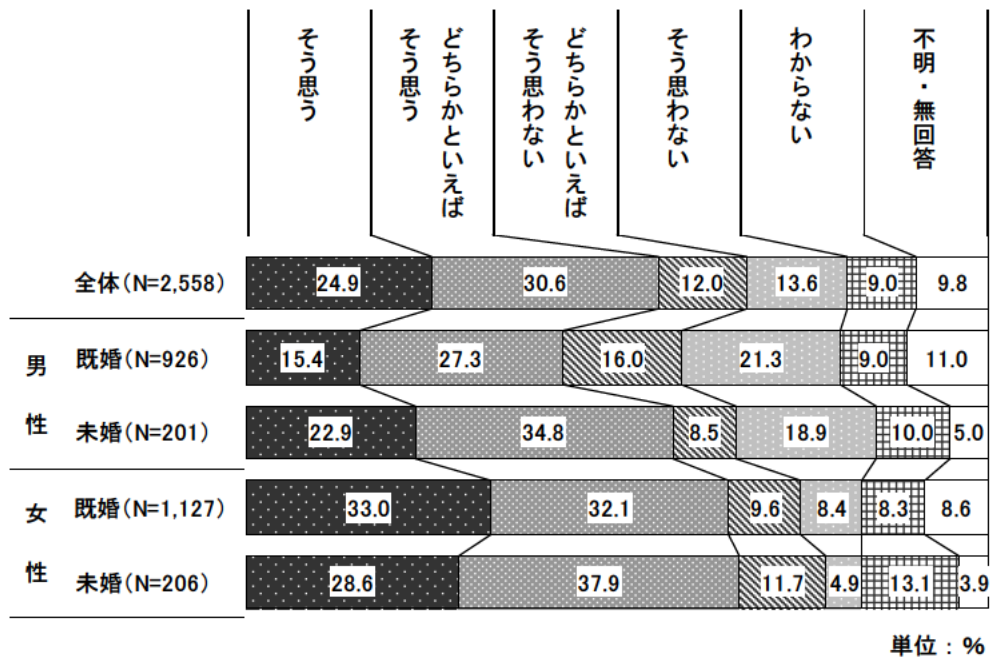
- 全体では、『そう思う』と答えた人の割合は 55.5%、『そう思わない』と答えた人の割合は 25.6%となっています。
- 性別でみると、『そう思う』と答えた人の割合は、女性（64.2%）が男性（45.5%）を 18.7ポイント上回っています。
『そう思わない』と答えた人の割合は、男性（35.1%）が女性（17.9%）を大きく上回っていることがわかります。

問6 子育てに関する考え方について C 必要であれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい 【性別・年代別】



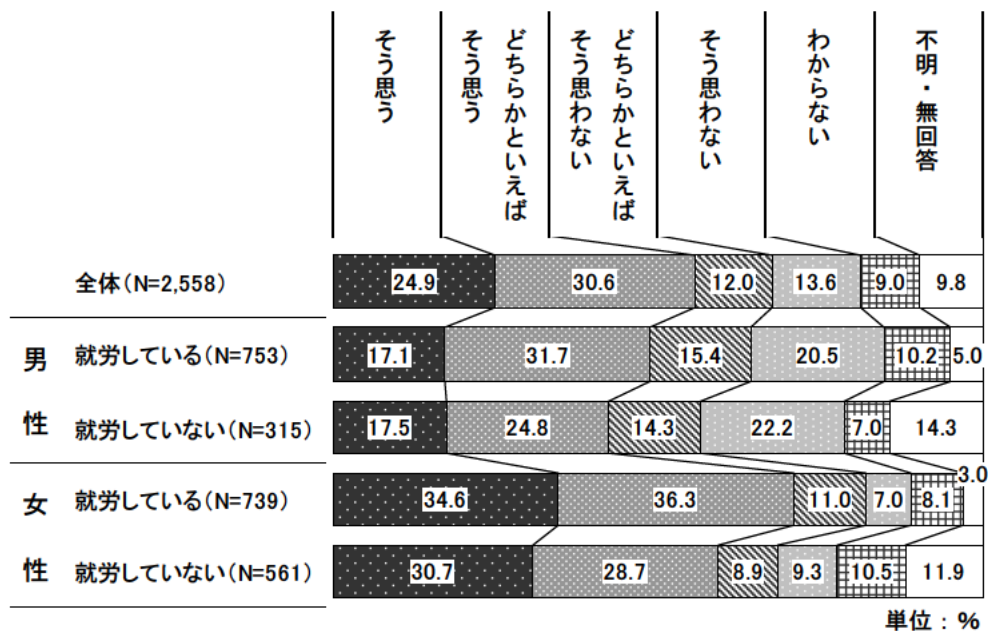
- 性・年代別で見ると、『そう思う』と答えた人の割合は、男性では30歳代（59.6%）が高くなっており、年代が上がるにつれ『そう思う』と答えた人の割合が低くなる傾向にあります。また、女性では『そう思う』と答えた人の割合は、20歳代（71.6%）、30歳代（78.8%）、40歳代（73.1%）、50歳代（74.5%）が7割を超えています。

問6 子育てに関する考え方について C 必要であれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい 【性別・婚姻状況別】



- 性・婚姻状況別で見ると、『そう思う』と答えた人の割合は、女性の既婚者（65.1%）と未婚者（66.5%）が6割を超えています。
『そう思わない』と答えた人の割合は、男性の既婚者（37.3%）が最も高い結果となっています。

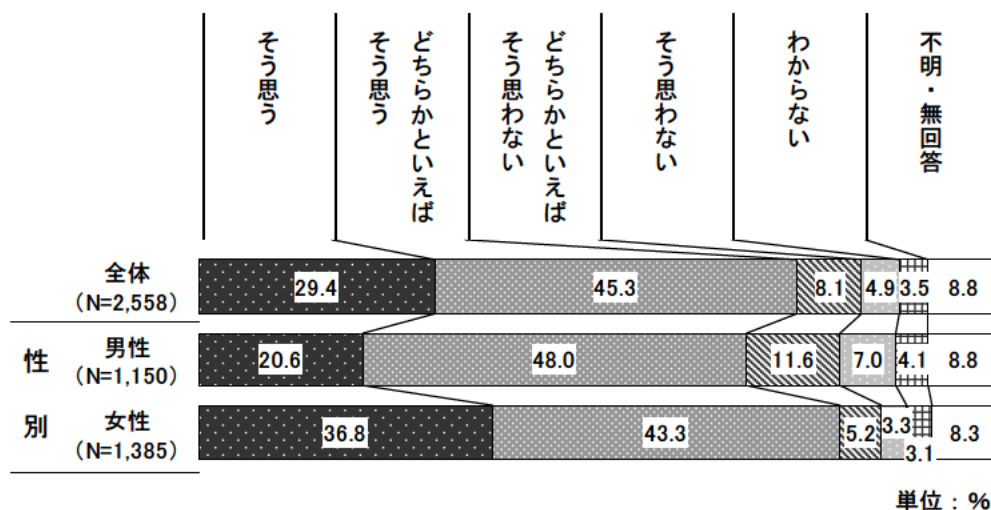
問6 子育てに関する考え方について C 必要であれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい 【性別・就労状況別】



● 性・就労状況別でみると、『そう思う』と答えた人の割合は、女性の就労している（70.9%）が7割を超え、高くなっています。

『そう思わない』と答えた人の割合は、男性の就労していない（36.5%）が最も高い結果となっています。

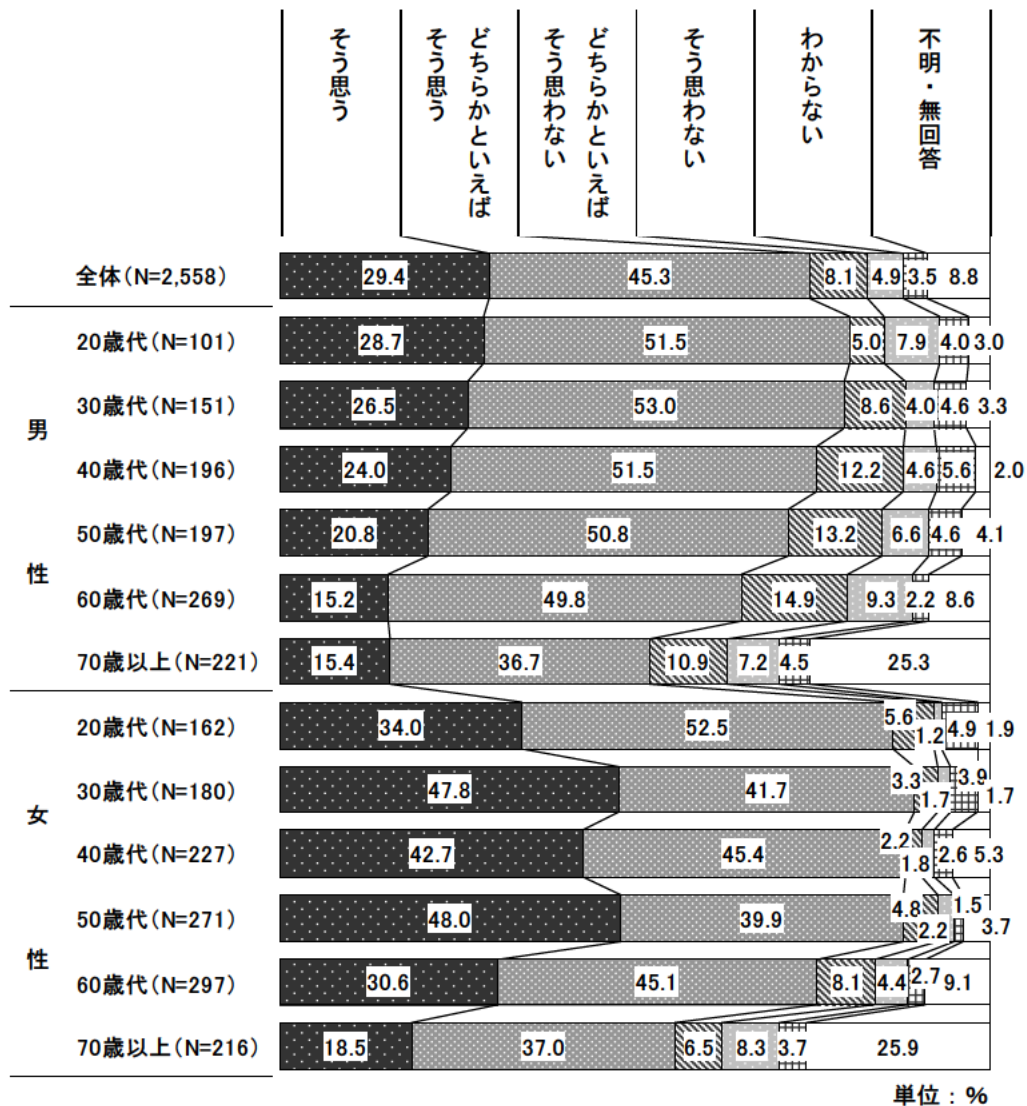
問6 子育てに関する考え方について D 男の子は家事ができるように育てるのがよい 【全体／性別】



● 全体では、『そう思う』と答えた人の割合は 74.7%、『そう思わない』と答えた人の割合は 13.0%となっています。

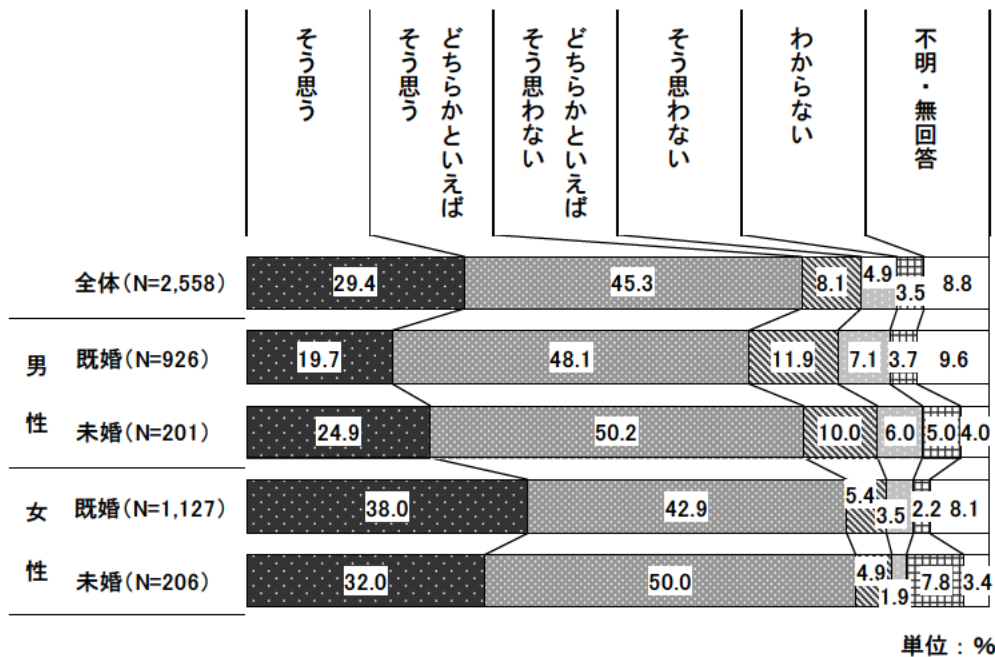
● 性別でみると、『そう思う』と答えた人の割合は、女性（80.1%）が男性（68.6%）を上回っています。

問6 子育てに関する考え方について D 男の子は家事ができるように育てるのがよい
【性別・年代別】



- 性・年代別で見ると、『そう思う』と答えた人の割合は、女性の30歳代（89.5%）が最も高く、20歳代（86.5%）、40歳代（88.1%）、50歳代（87.9%）も8割を超えています。
『そう思わない』と答えた人の割合は、男性の60歳代（24.2%）が2割を超え、最も高くなっています。

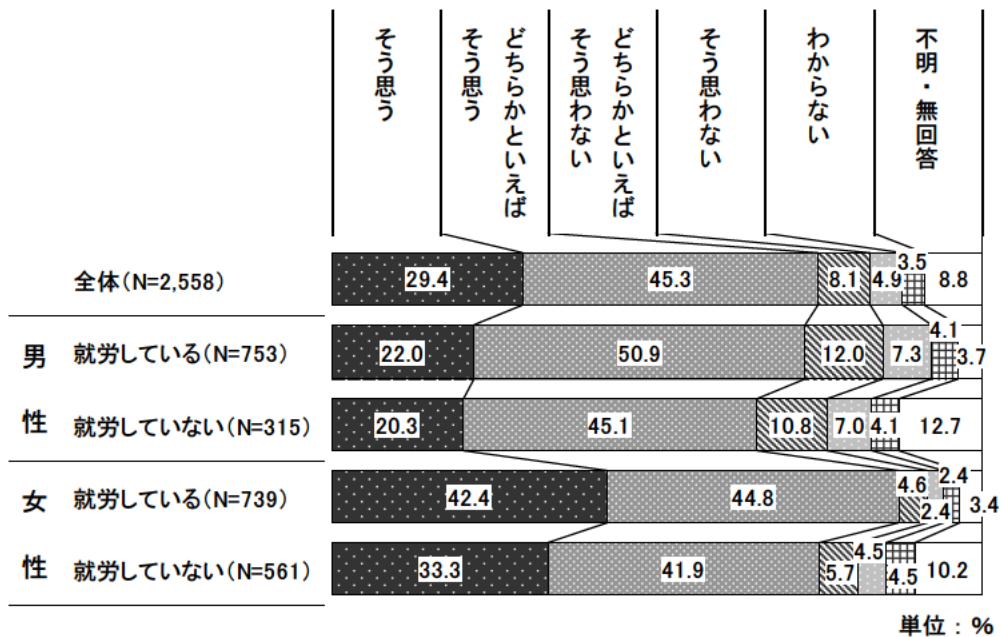
問6 子育てに関する考え方について D 男の子は家事ができるように育てるのがよい
【性別・婚姻状況別】



- 性・婚姻状況別でみると、『そう思う』と答えた人の割合は、女性の未婚者（82.0%）が最も高く、次いで女性の既婚者（80.9%）と続いています。また、男性の既婚者（67.8%）と女性の未婚者（82.0%）では14.2ポイントの差がみられます。

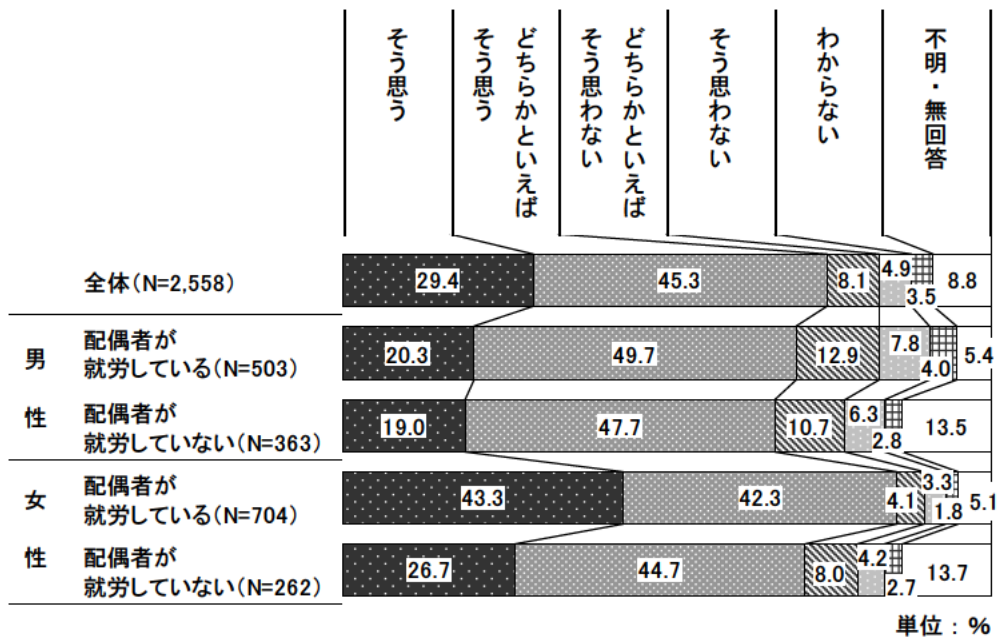
『そう思わない』と答えた人の割合は、男性の既婚者（19.0%）が最も高い結果となっています。

問6 子育てに関する考え方について D 男の子は家事ができるように育てるのがよい
【性別・就労状況別】



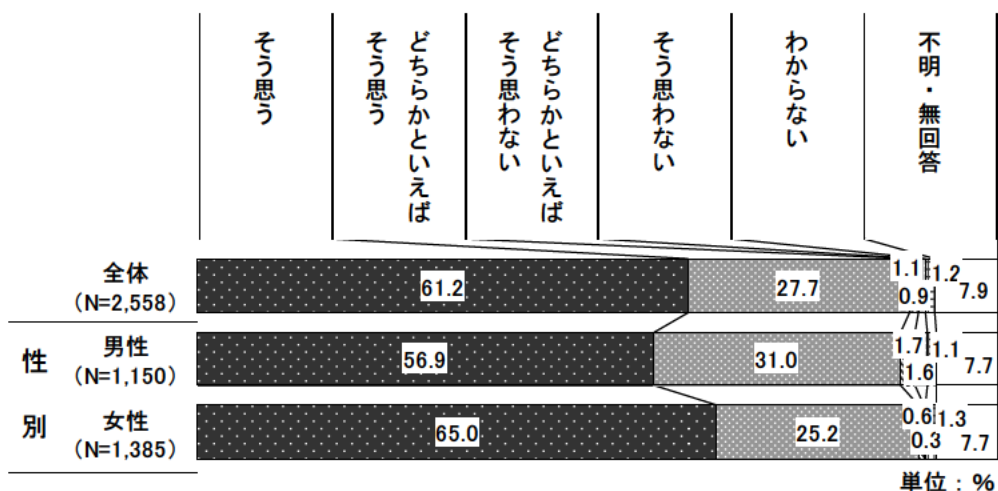
- 性・就労状況別で見ると、『そう思う』と答えた人の割合は、女性の就労している（87.2%）が最も高く、次いで女性の就労していない（75.2%）と続いています。
『そう思わない』と答えた人の割合は、男性の就労している（19.3%）が最も高い結果となっています。

問6 子育てに関する考え方について D 男の子は家事ができるように育てるのがよい
【性別・配偶者の就労状況別】



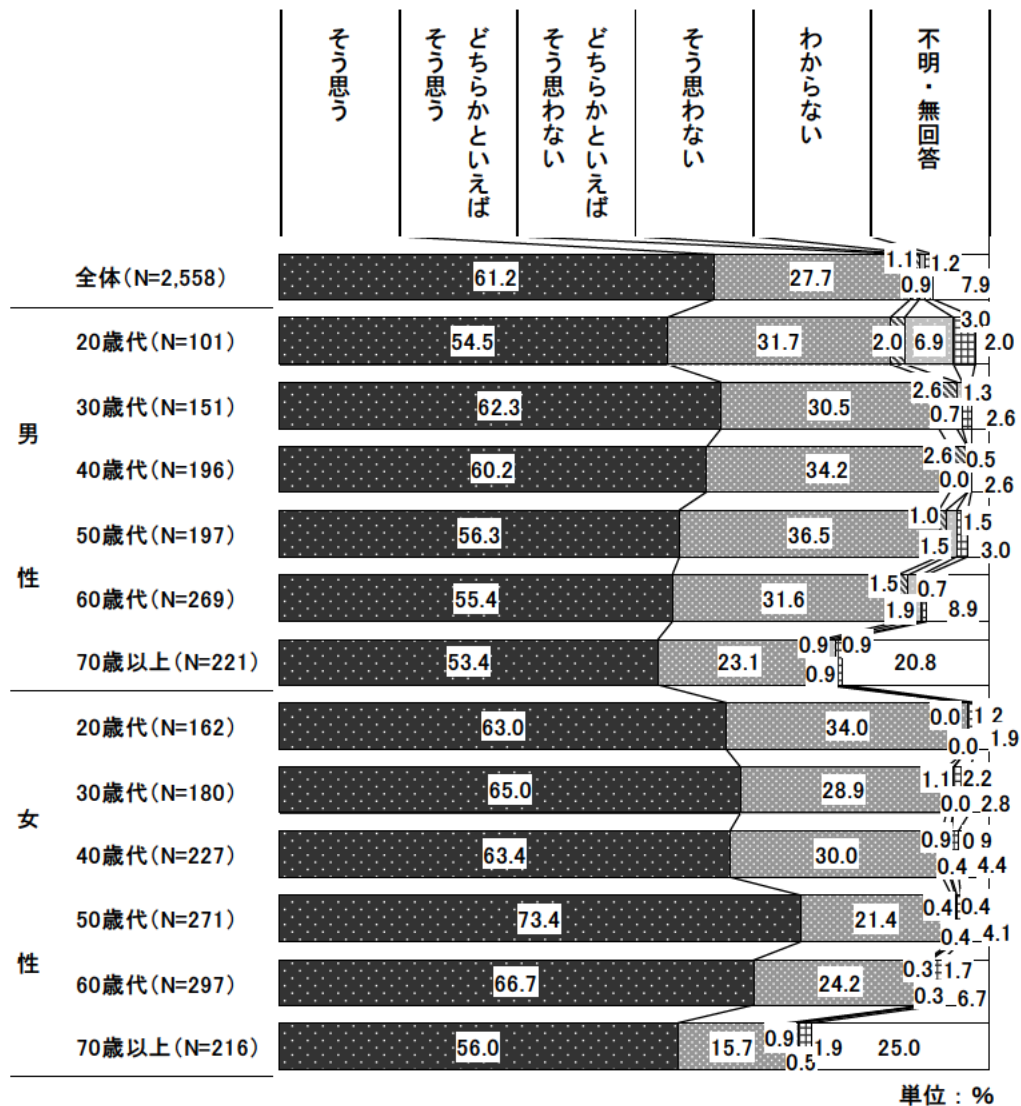
- 性・配偶者の就労状況別でみると、『そう思う』と答えた人の割合は、女性の配偶者が就労している（85.6%）が最も高く、次いで女性の配偶者が就労していない（71.4%）と続いています。
- 『そう思わない』と答えた人の割合は、男性の配偶者が就労している（20.7%）が最も高い結果となっています。

問6 子育てに関する考え方について E 女の子は家事ができるように育てるのがよい
【全体／性別】



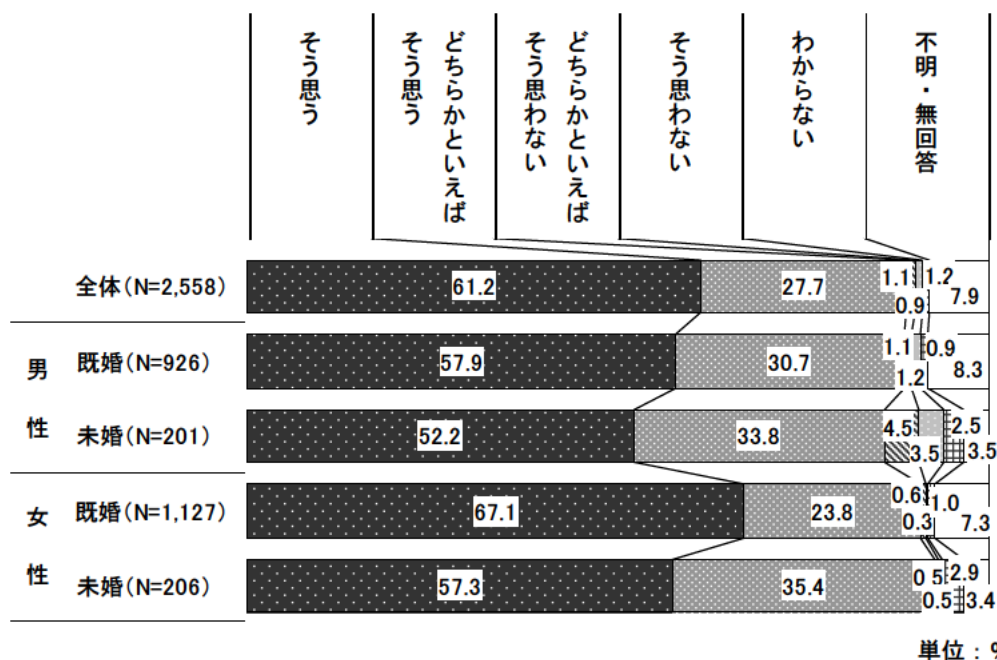
- 全体では、『そう思う』と答えた人の割合は88.9%となっています。
- 性別でみると、『そう思う』と答えた人の割合は、女性（90.2%）が男性（87.9%）をわずかに上回っています。

問6 子育てに関する考え方について E 女の子は家事ができるように育てるのがよい
【性別・年代別】



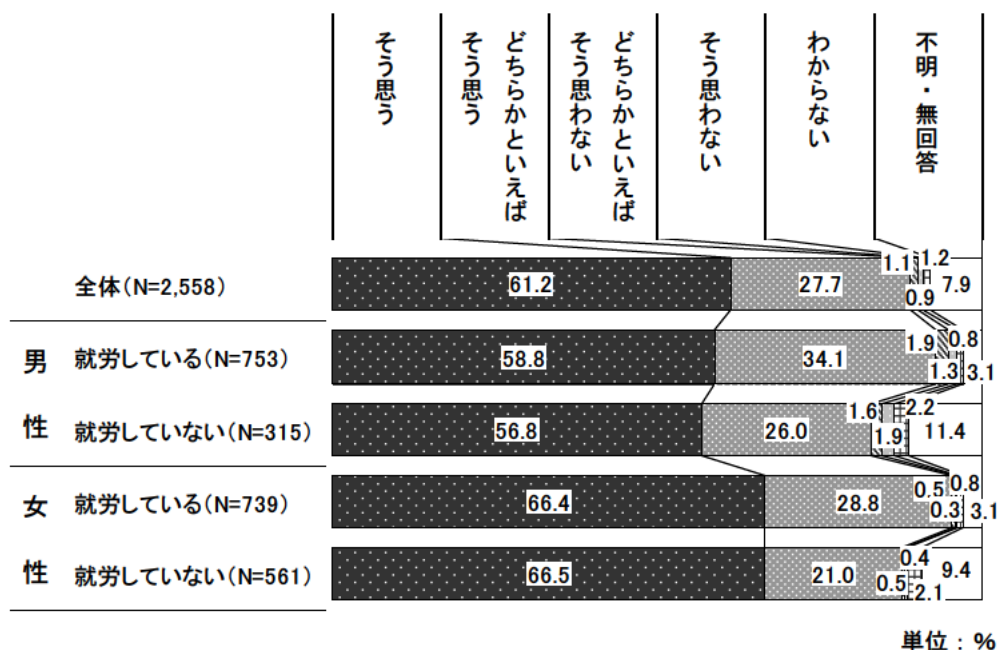
- 性・年代別でみると、『そう思う』と答えた人の割合は、男女ともに各年代において高い結果となっています。

問6 子育てに関する考え方について E 女の子は家事ができるように育てるのがよい
【性別・婚姻状況別】



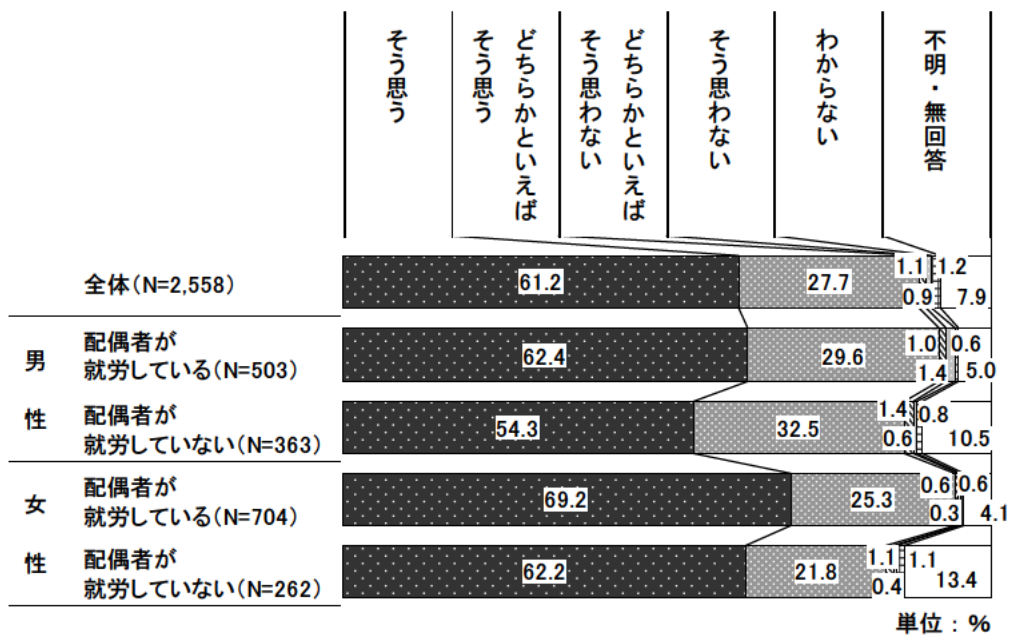
- 性・婚姻状況別でみると、男女ともに既婚、未婚にかかわらず、『そう思う』と答えた人の割合が非常に高いことがわかります。また、「そう思う」と答えた人の割合は、女性の既婚者（67.1%）が最も高い結果となっています。

問6 子育てに関する考え方について E 女の子は家事ができるように育てるのがよい
【性別・就労状況別】



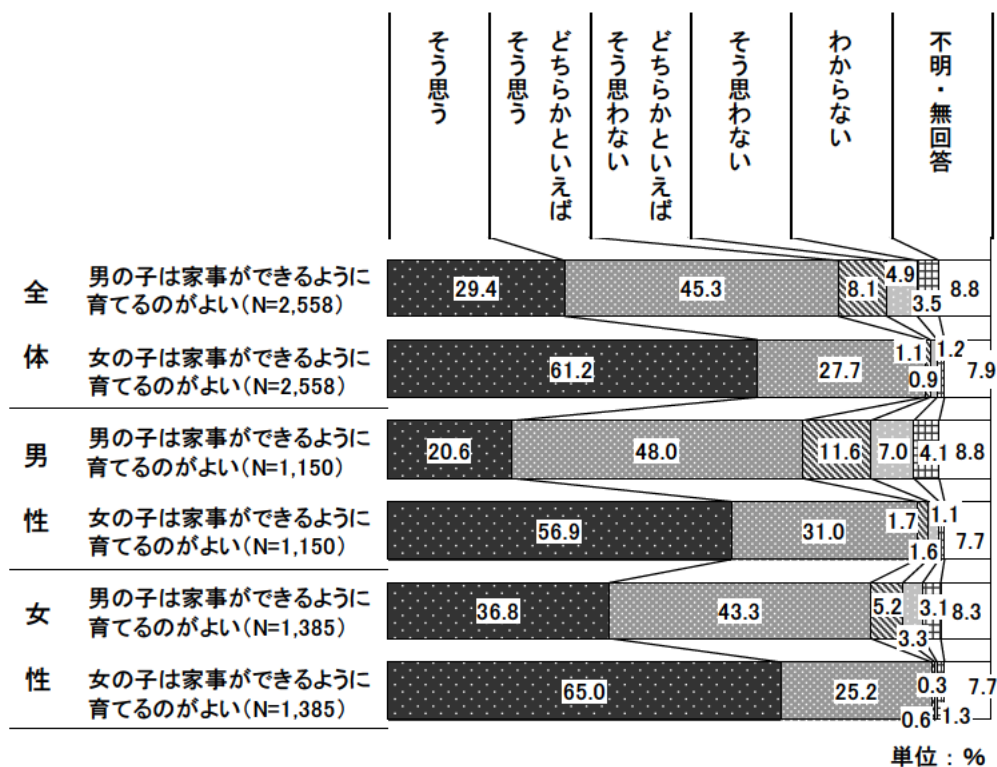
- 性・就労状況別でみると、『そう思う』と答えた人の割合は、就労している男性（92.9%）、就労している女性（95.2%）ともに非常に高いことがわかります。

問6 子育てに関する考え方について E 女の子は家事ができるように育てるのがよい
【性別・配偶者の就労状況別】



- 性・配偶者の就労状況別で見ると、『そう思う』と答えた人の割合は、配偶者が就労している人が男性（92.0%）、女性（94.5%）ともに非常に高いことがわかります。また、「そう思う」と答えた人の割合は、女性の配偶者が就労している（69.2%）が最も高い結果となっています。

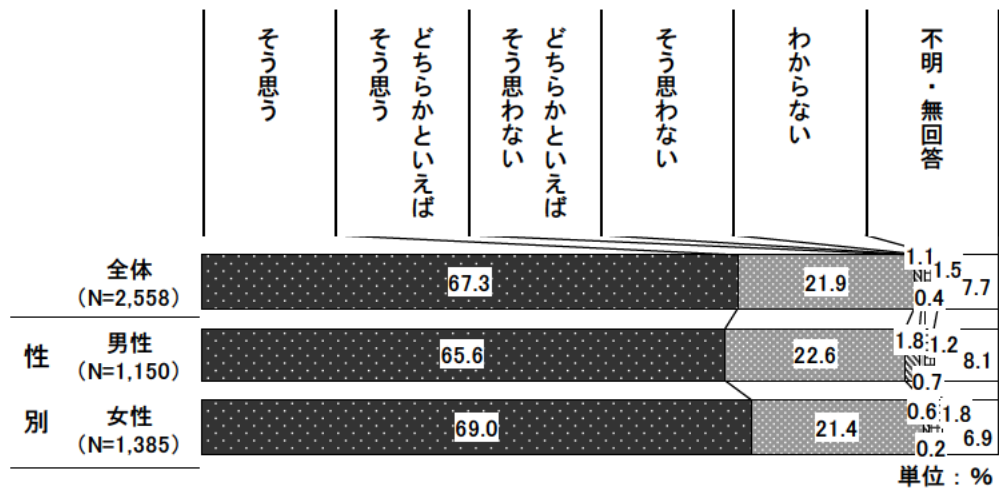
問6 子育てに関する考え方について DとEの比較 【全体／性別】



- 「D 男の子は家事ができるように育てるのがよい」と「E 女の子は家事ができるように育てるのがよい」を比較すると、「D 男の子は家事ができるように育てるのがよい」の『そう思う』と答えた人の割合が 74.7%となっているのに対して、「E 女の子は家事ができるように育てるのがよい」の『そう思う』と答えた人の割合は 88.9%と 14.2 ポイントの差がみられます。

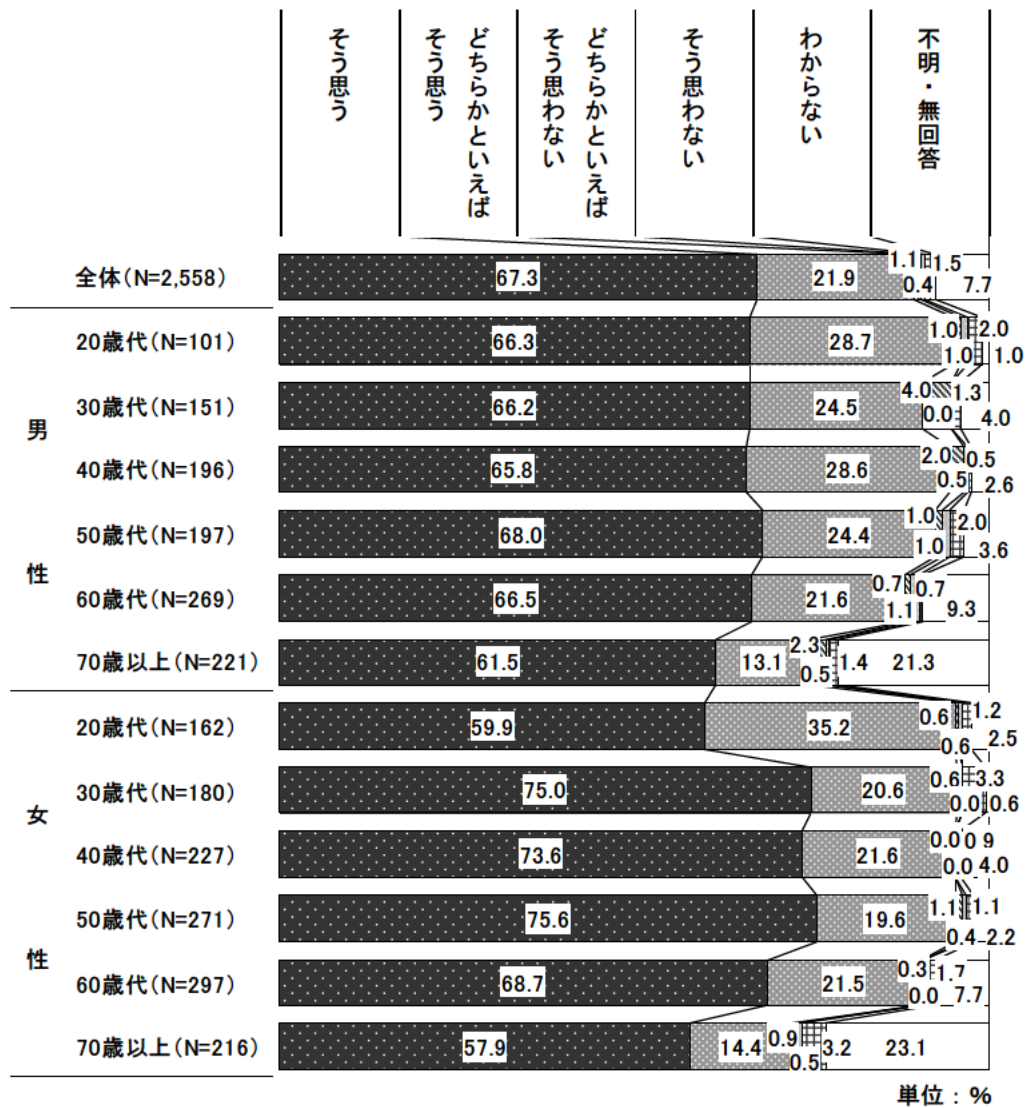
性別でみると、男性では「E 女の子は家事ができるように育てるのがよい」で『そう思う』と答えた人の割合が 87.9%と高くなっています。女性では「E 女の子は家事ができるように育てるのがよい」で『そう思う』と答えた人の割合が 90.2%と高くなっています。

問6 子育てに関する考え方について F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい
【全体／性別】



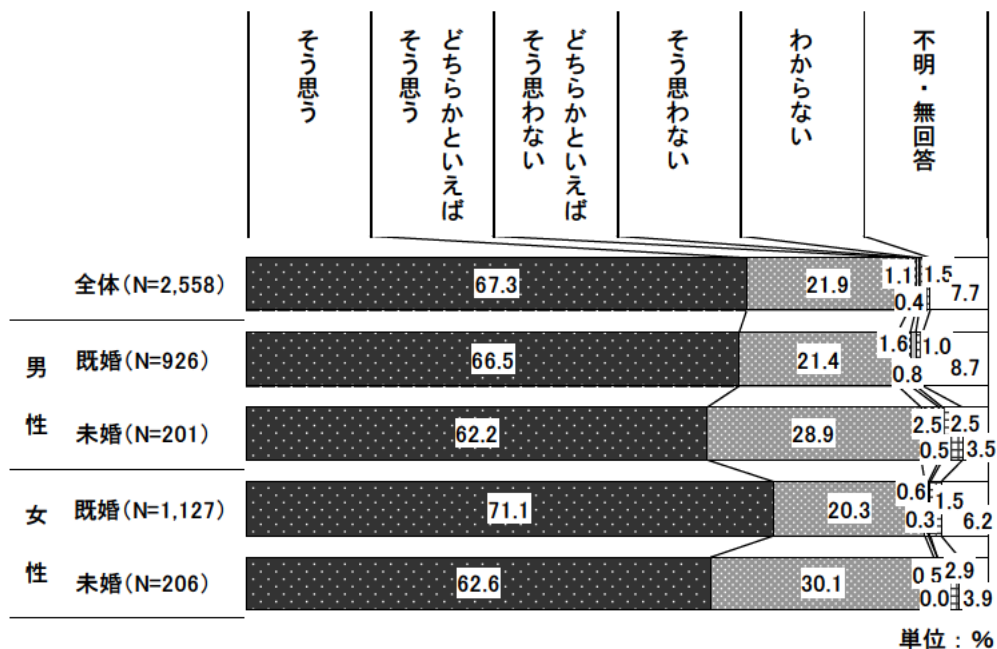
- 全体では、『そう思う』と答えた人の割合は89.2%となっています。
- 性別で見ると、『そう思う』と答えた人の割合は、女性（90.4%）が男性（88.2%）をわずかに上回っています。

問6 子育てに関する考え方について F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい
【性別・年代別】



- 性・年代別で見ると、『そう思う』と答えた人の割合は、男女ともに各年代において高い結果となっています。

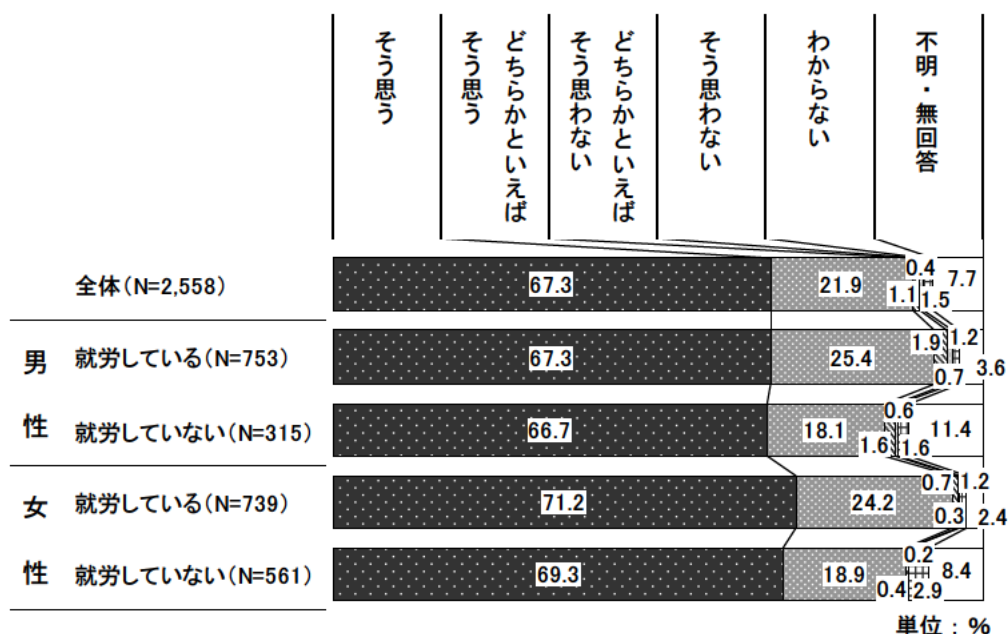
問6 子育てに関する考え方について F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい
【性別・婚姻状況別】



- 性・婚姻状況別でみると、『そう思う』と答えた人の割合は、女性の未婚者（92.7%）が最も高くなっています。

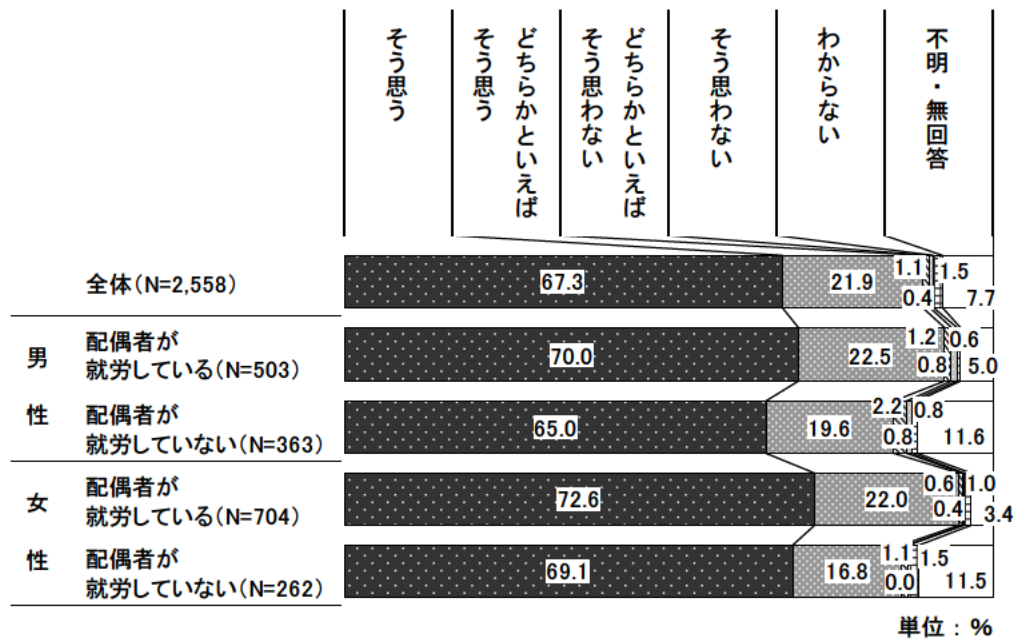
「そう思う」と答えた人の割合で、男女の既婚者を比べると、女性（71.1%）が男性（66.5%）を4.6ポイント上回っています。

問6 子育てに関する考え方について F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい
【性別・就労状況別】



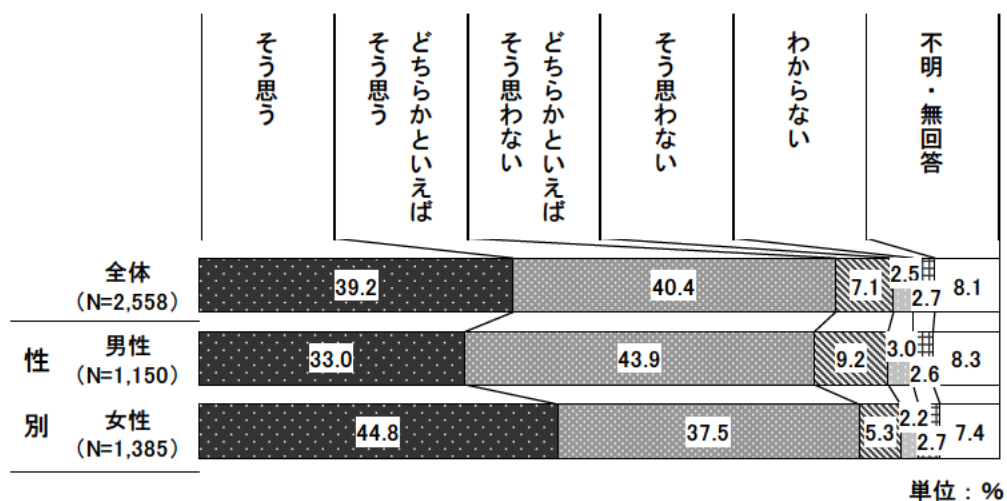
- 性・就労状況別でみると、『そう思う』と答えた人の割合は、女性の就労している（95.4%）が最も高くなっています。

問6 子育てに関する考え方について F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい
【性別・配偶者の就労状況別】



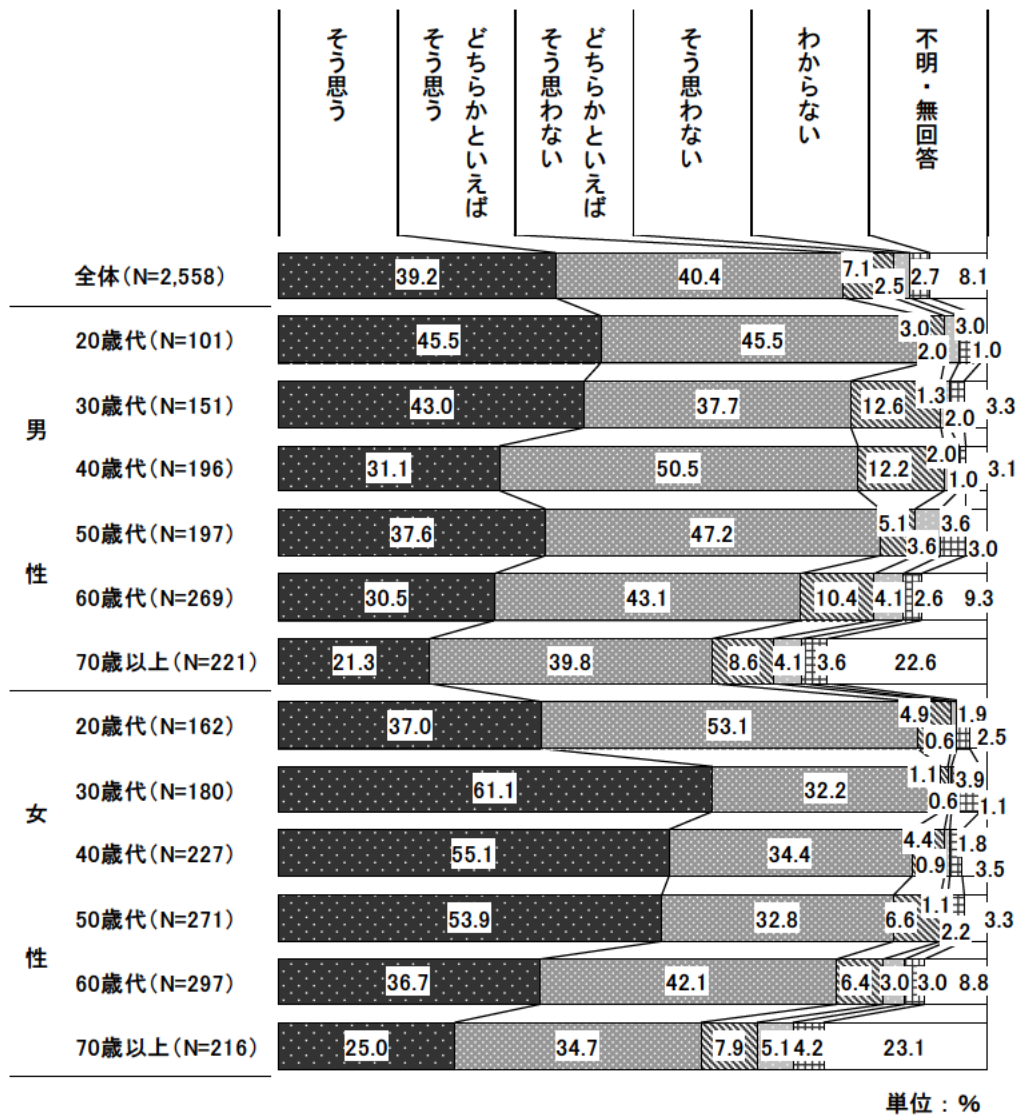
- 性別・配偶者の就労状況別でみると、『そう思う』と答えた人の割合は、女性の配偶者が就労している（94.6%）が最も高く、次いで、男性の配偶者が就労している（92.5%）と続いています。

問6 子育てに関する考え方について G 女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい
【全体／性別】



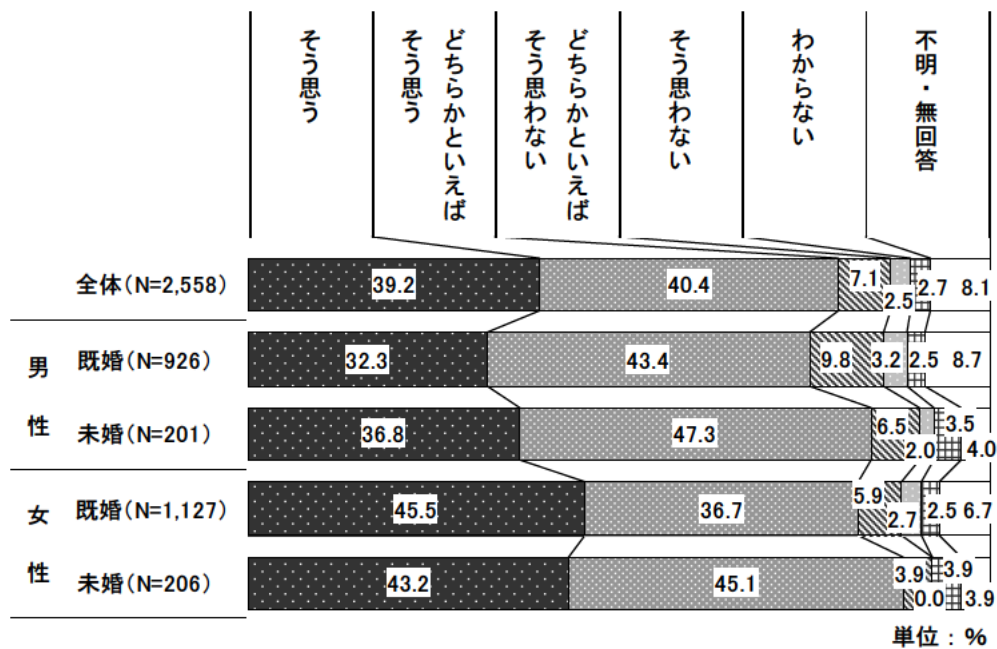
- 全体では、『そう思う』と答えた人の割合は79.6%となっています。
- 性別でみると、『そう思う』と答えた人の割合は、男性（76.9%）が女性（82.3%）を5.4ポイント下回っています。

問6 子育てに関する考え方について G 女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい
【性別・年代別】



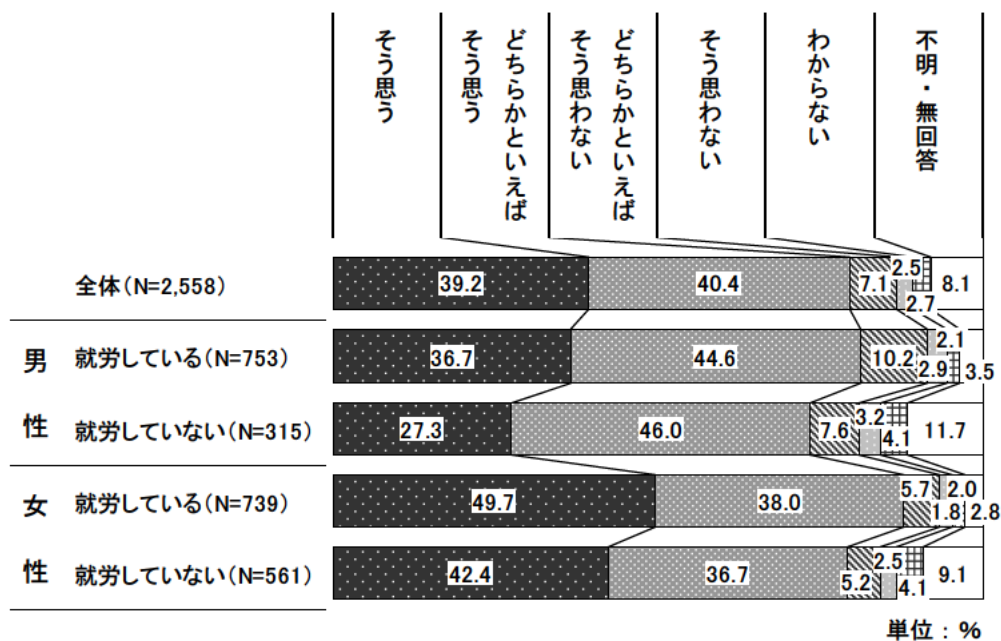
- 性・年代別で見ると、『そう思う』と答えた人の割合は、女性の30歳代（93.3%）、20歳代（90.1%）が9割を超える結果となっています。
『そう思わない』と答えた人の割合は、男性の60歳代（14.5%）、40歳代（14.2%）が高くなっています。

問6 子育てに関する考え方について G 女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい
【性別・婚姻状況別】



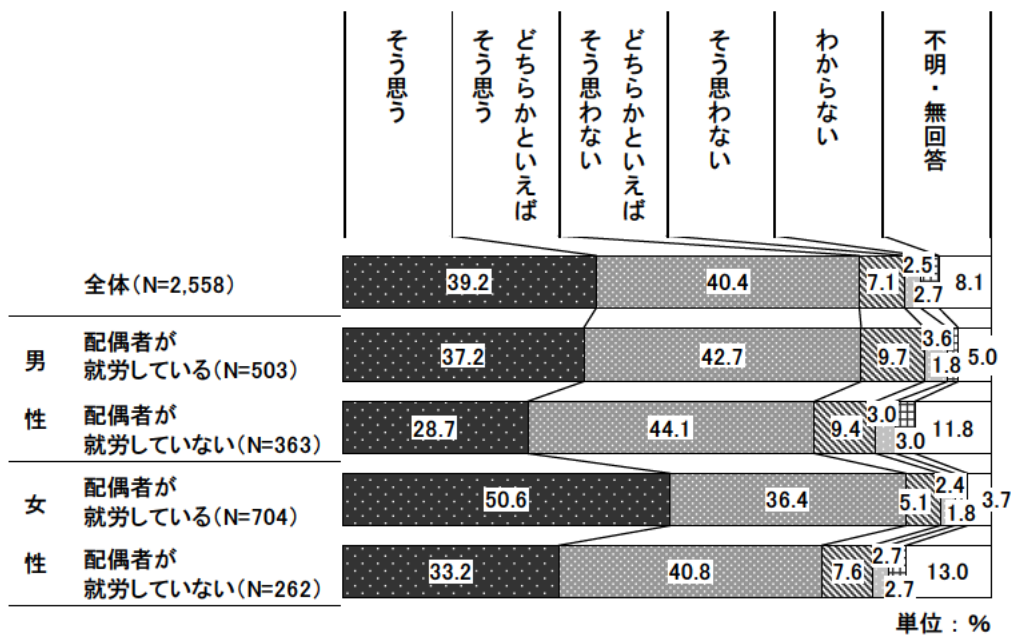
- 性・婚姻状況別でみると、『そう思う』と答えた人の割合は、女性の未婚者（88.3%）が最も高くなっています。『そう思わない』と答えた人の割合は、男性の既婚者（13.0%）が最も高くなっています。

問6 子育てに関する考え方について G 女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい
【性別・就労状況別】



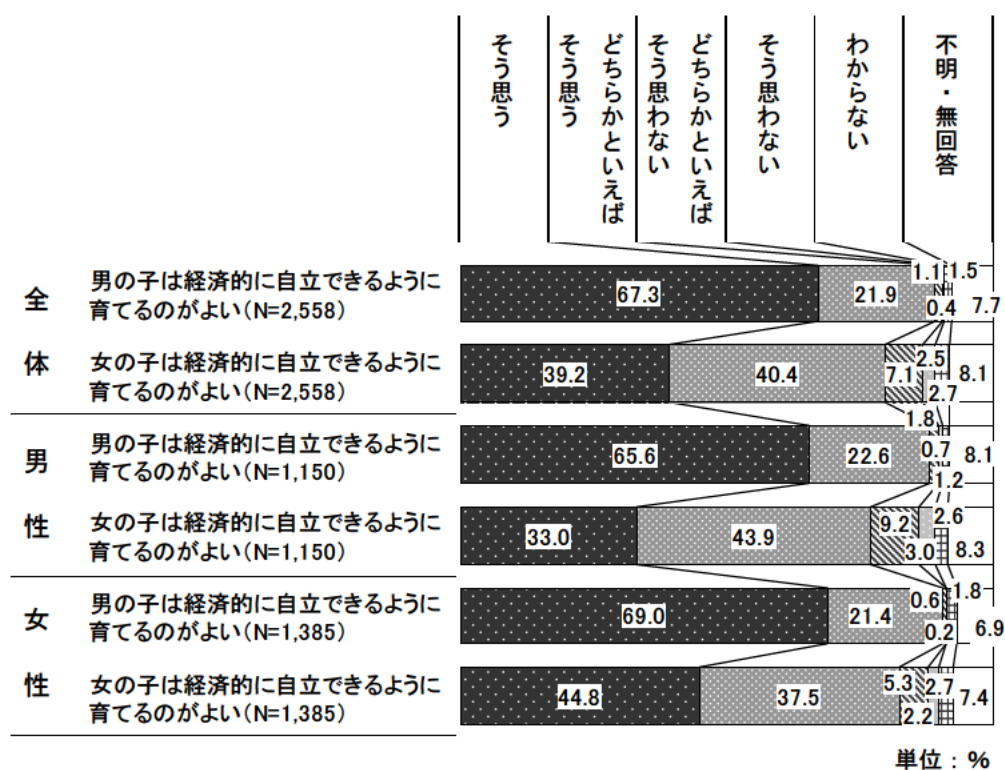
- 性・就労状況別でみると、『そう思う』と答えた人の割合は、女性の就労している（87.7%）が最も高くなっています。『そう思わない』と答えた人の割合は、男性の就労している（13.1%）が最も高くなっています。

問6 子育てに関する考え方について G 女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい
【性別・配偶者の就労状況別】



- 性・配偶者の就労状況別で見ると、『そう思う』と答えた人の割合は、女性の配偶者が就労している（87.0%）が最も高くなっています。『そう思わない』と答えた人の割合は、男性の配偶者が就労している（13.3%）が最も高くなっています。

問6 子育てに関する考え方について FとGの比較 【全体／性別】



- 「F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」と「G 女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」を比較すると、「F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」の『そう思う』と答えた人の割合が 89.2%となっているのに対して、「G 女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」の『そう思う』と答えた人の割合は 79.6%と 9.6ポイントの差がみられます。

性別でみると、男性では「F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」で『そう思う』と答えた人の割合が 88.2%と高くなっています。女性では「F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」で『そう思う』と答えた人の割合が 90.4%と高くなっています。